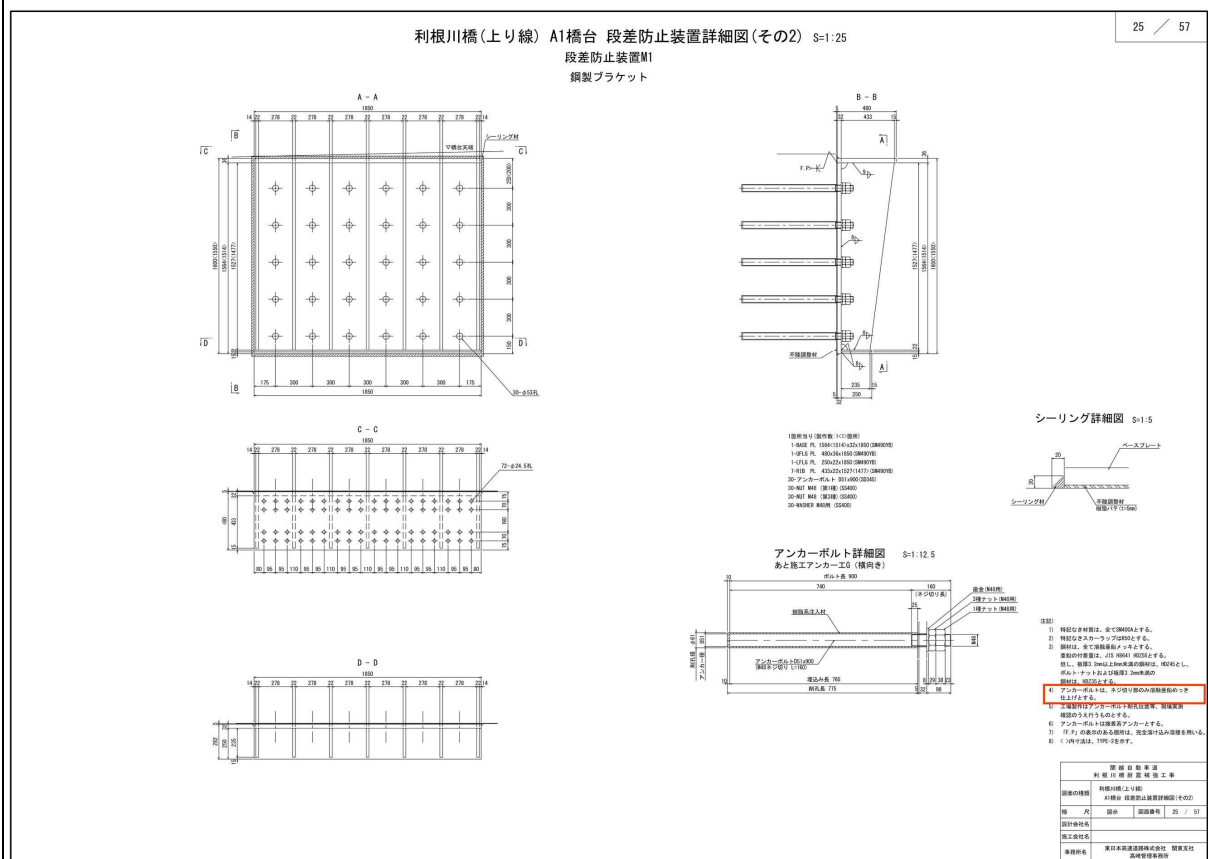
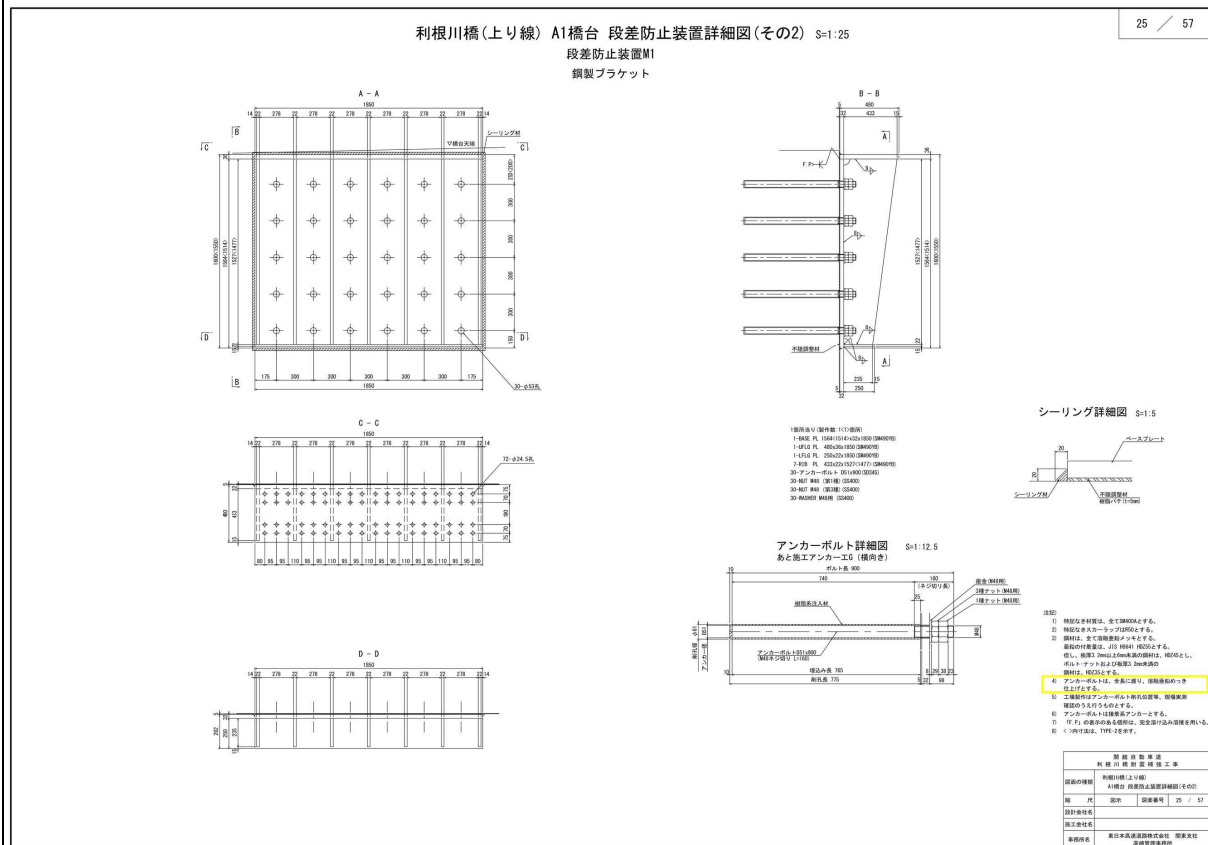
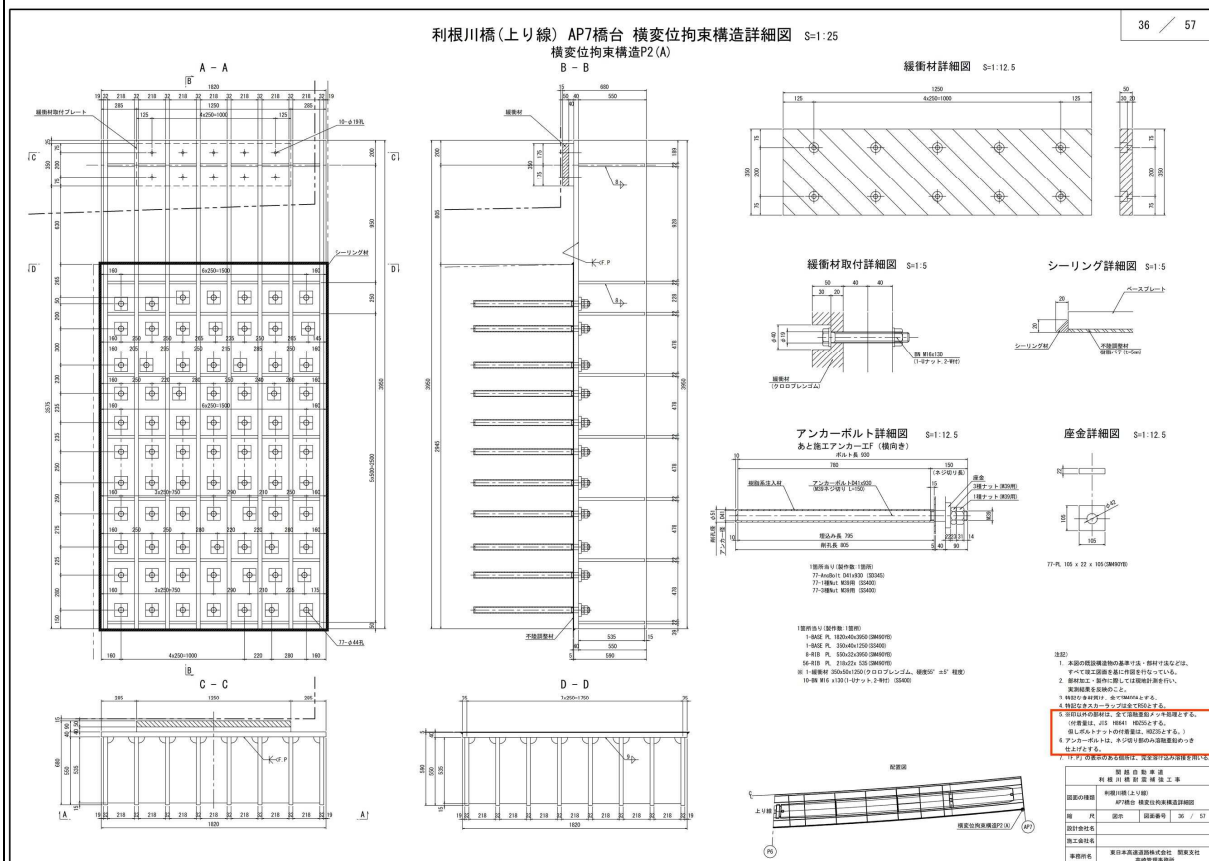
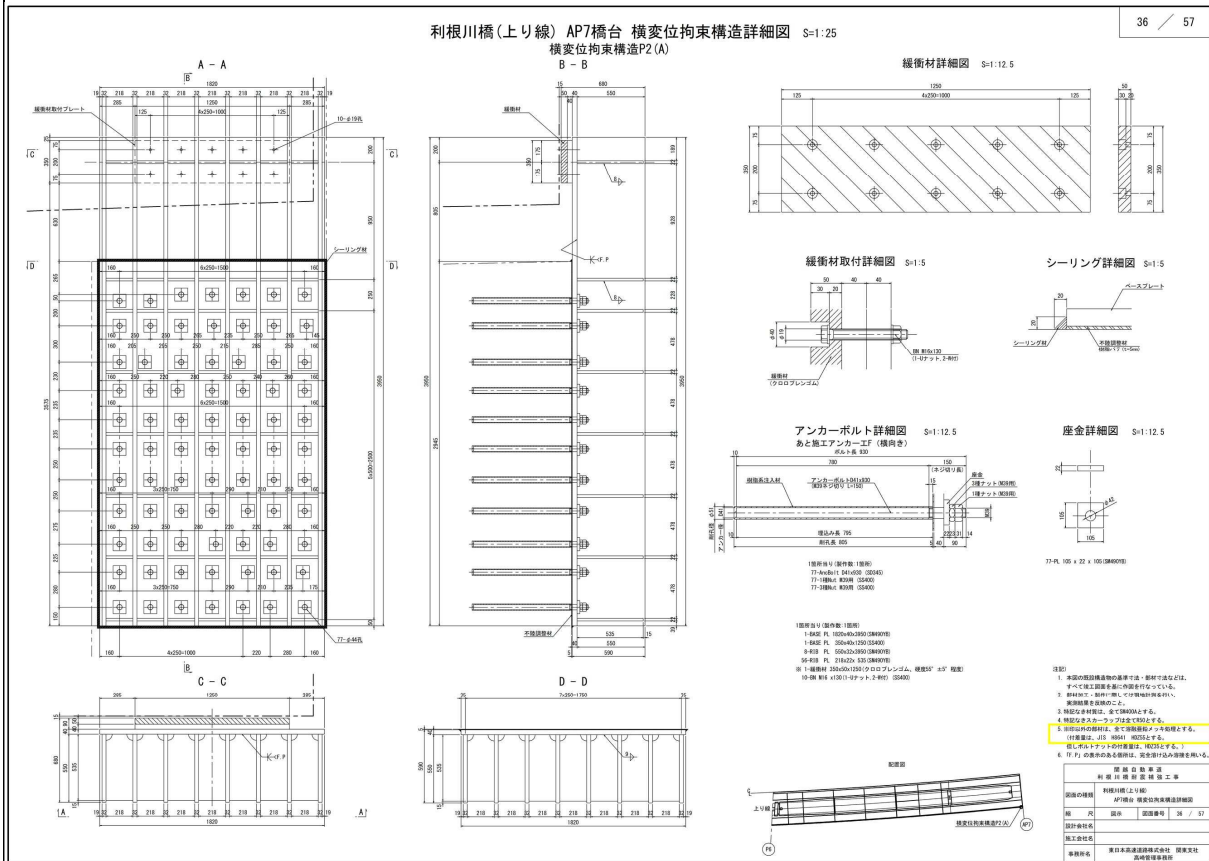


対象	特記仕様書（P. 39）																								
誤	<table><tr><td></td><td>5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め</td></tr><tr><td>P 2（A）</td><td>1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台測面の鋼製ブラケット設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置部背面の下地処理、チップینگ、不陸整正、鋼製ブラケット取付け、鋼製ブラケット設置側面全周シール工 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め</td></tr><tr><td>P 2（B）</td><td>1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台上面の横変位拘束部材設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置下面の不陸調整無収縮モルタル打設 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め</td></tr></table> <p>2 5－1 4－4 材料 横変位拘束構造に使用する緩衝材の材料及び品質は、設計図書に示すものとする。無収縮</p> <p>2 5－1 4－5 溶融亜鉛めっき 鋼材の溶融亜鉛めっきのめっき付着量は設計図書に示すとおりとする。</p> <p>2 5－1 4－6 施工 （1）横変位拘束構造の製作・設置は、日本道路協会「道路橋示方書・同解説（Ⅱ、鋼橋編）H 2 9．1 1」2 0．6、1、2 0．7及び2 0．8の関係各項の規定に従うものとする。 （2）アンカー工の施工は、本特記仕様書2 5－1 5－2「施工」の規定に従わなければならない。</p> <p>2 5－1 4－7 数量の検測 横変位拘束構造の数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。</p> <p>2 5－1 4－8 支払 横変位拘束構造の支払は、前項の規定で検測された数量に対して、1箇所当りの契約単価で支払うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う鋼構造物の製作・運搬、近接調査計測工、芯出し調整工、部材設置部背面下地処理、チップینگ、不陸整正、不陸調整無収縮モルタル打設、鋼製ブラケット設置、ボルト孔明、ブラケット設置側面全周シール、鋼製ストッパー取付け、ボルト本締め、緩衝材取付け等横変位拘束構造の施工に要する材料・労力・機械器具経費等で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><td></td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td>特－（2）</td><td>横変位拘束構造</td><td></td></tr><tr><td></td><td>P 1（A）</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>P 1（B）</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>P 2（A）</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>P 2（B）</td><td>箇所</td></tr></table> <p>39</p>		5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め	P 2（A）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台測面の鋼製ブラケット設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置部背面の下地処理、チップینگ、不陸整正、鋼製ブラケット取付け、鋼製ブラケット設置側面全周シール工 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め	P 2（B）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台上面の横変位拘束部材設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置下面の不陸調整無収縮モルタル打設 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め		単価表の項目	検測の単位	特－（2）	横変位拘束構造			P 1（A）	箇所		P 1（B）	箇所		P 2（A）	箇所		P 2（B）	箇所
	5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め																								
P 2（A）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台測面の鋼製ブラケット設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置部背面の下地処理、チップینگ、不陸整正、鋼製ブラケット取付け、鋼製ブラケット設置側面全周シール工 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め																								
P 2（B）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台上面の横変位拘束部材設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置下面の不陸調整無収縮モルタル打設 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め																								
	単価表の項目	検測の単位																							
特－（2）	横変位拘束構造																								
	P 1（A）	箇所																							
	P 1（B）	箇所																							
	P 2（A）	箇所																							
	P 2（B）	箇所																							
正	<table><tr><td></td><td>5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め</td></tr><tr><td>P 2（A）</td><td>1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台測面の鋼製ブラケット設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置部背面の下地処理、チップینگ、不陸整正、鋼製ブラケット取付け、鋼製ブラケット設置側面全周シール工 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め</td></tr><tr><td>P 2（B）</td><td>1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台上面の横変位拘束部材設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置下面の不陸調整無収縮モルタル打設 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め</td></tr></table> <p>2 5－1 4－4 材料 横変位拘束構造に使用する緩衝材の材料及び品質は、設計図書に示すものとする。</p> <p>2 5－1 4－5 溶融亜鉛めっき 鋼材の溶融亜鉛めっきのめっき付着量は設計図書に示すとおりとする。</p> <p>2 5－1 4－6 施工 （1）横変位拘束構造の製作・設置は、日本道路協会「道路橋示方書・同解説（Ⅱ、鋼橋編）H 2 9．1 1」2 0．6、1、2 0．7及び2 0．8の関係各項の規定に従うものとする。 （2）アンカー工の施工は、本特記仕様書2 5－1 5－2「施工」の規定に従わなければならない。</p> <p>2 5－1 4－7 数量の検測 横変位拘束構造の数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。</p> <p>2 5－1 4－8 支払 横変位拘束構造の支払は、前項の規定で検測された数量に対して、1箇所当りの契約単価で支払うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う鋼構造物の製作・運搬、近接調査計測工、芯出し調整工、部材設置部背面下地処理、チップینگ、不陸整正、不陸調整無収縮モルタル打設、鋼製ブラケット設置、ボルト孔明、ブラケット設置側面全周シール、鋼製ストッパー取付け、ボルト本締め、緩衝材取付け等横変位拘束構造の施工に要する材料・労力・機械器具経費等で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><td></td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td>特－（2）</td><td>横変位拘束構造</td><td></td></tr><tr><td></td><td>P 1（A）</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>P 1（B）</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>P 2（A）</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>P 2（B）</td><td>箇所</td></tr></table> <p>39</p>		5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め	P 2（A）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台測面の鋼製ブラケット設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置部背面の下地処理、チップینگ、不陸整正、鋼製ブラケット取付け、鋼製ブラケット設置側面全周シール工 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め	P 2（B）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台上面の横変位拘束部材設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置下面の不陸調整無収縮モルタル打設 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め		単価表の項目	検測の単位	特－（2）	横変位拘束構造			P 1（A）	箇所		P 1（B）	箇所		P 2（A）	箇所		P 2（B）	箇所
	5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め																								
P 2（A）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台測面の鋼製ブラケット設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置部背面の下地処理、チップینگ、不陸整正、鋼製ブラケット取付け、鋼製ブラケット設置側面全周シール工 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め																								
P 2（B）	1)近接調査計測工 （既設構造物の詳細寸法計測・障害物の有無、ハンドリング調査等） 2)芯出し調整工 （橋台上面の横変位拘束部材設置位置の芯出し） 3)鋼製ブラケットの製作・防錆・輸送、荷下ろし～取込み～仮置き 4)鋼製ブラケット設置下面の不陸調整無収縮モルタル打設 5)鋼製ブラケットの設置、緩衝材取付、ボルト本締め																								
	単価表の項目	検測の単位																							
特－（2）	横変位拘束構造																								
	P 1（A）	箇所																							
	P 1（B）	箇所																							
	P 2（A）	箇所																							
	P 2（B）	箇所																							
備考	特記仕様書 「無収縮」の文言を削除。																								

対象	特記仕様書（P. 47）																									
誤	<div><div><table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一（7）</td><td>設置工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>A 1</td><td>m</td></tr><tr><td></td><td>A 2</td><td>m</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>検査路 B 1</td><td>k g</td></tr><tr><td></td><td>検査路 B 2</td><td>k g</td></tr></table></div><div><p>2 5 - 2 0 試料採取</p><p>2 5 - 2 0 - 1 定義</p><p>試料採取とは、設計図書及び監督員の指示に従って、断面修復工の施工に先立ち既設コンクリート構造物から試料を採取することをいう。</p><p>2 5 - 2 0 - 2 種別</p><p>試料採取の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>B</td><td>下部工の試料採取をいう。試料採取の施工は、1 箇所当たり深さ 8 cm とし、2 cm 毎の深さで 4 試料を採取するものとする。</td></tr></table><p>採取した試料については、監督員へ引き渡すものとする。なお、監督員は採取した試料について塩分量調査を行い、塩分量調査結果により補修方法の変更を監督員が指示した場合は、受注者はその指示に従うものとし、これに要する費用については、別途、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</p><p>2 5 - 2 0 - 3 施工</p><p>(1) 試料採取の施工箇所は設計図書に示すとおりとし、その詳細な位置については監督員と受注者で協議のうえ、決定するものとする。</p><p>(2) 試料採取にあたっては、鉄筋探査を実施し既設鉄筋を切断しない位置を選定するとともに、配筋状況及びかぶり厚さを確認し、記録するものとする。</p><p>(3) 試料の採取方法は、調査要領 第二編 橋梁 第 3 章「コンクリート」1 - 3 - 2（1）「塩害対策」のドリル法によるものとし、採取した試料を試料収集用袋に回収し、計量器で採取量を計測する。</p><p>(4) 試料採取量は 1 試料当たり 5 0 g 以上とする。採取量が足りない場合は、対象の層を追加・削孔し、再度計量を行うものとする。</p><p>(5) 試料採取に合わせて、削孔箇所での中性化深さの測定（フェノールフタレイン 1 % 溶液の噴霧）を行い、結果を監督員に報告するものとする。</p><p>(6) 試料採取後は、ブラシを用いて坑内に残った粉等を清掃し、断面修復材にて修復するものとし、使用する材料は、構造物施工管理要領Ⅲ保全編 3 - 3 - 4「断面修復の要求性能」及びⅢ保全編 3 - 3 - 5「断面修復の性能照査」の規定に適合するものでなければならない。</p><p>2 5 - 2 0 - 4 数量の検測</p><p>試料採取 B の数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。</p><p>47</p></div></div>		単価表の項目	検測の単位	特一（7）	設置工			A 1	m		A 2	m		B	箇所		検査路 B 1	k g		検査路 B 2	k g	単価表の項目	区分内容	B	下部工の試料採取をいう。試料採取の施工は、1 箇所当たり深さ 8 cm とし、2 cm 毎の深さで 4 試料を採取するものとする。
	単価表の項目	検測の単位																								
特一（7）	設置工																									
	A 1	m																								
	A 2	m																								
	B	箇所																								
	検査路 B 1	k g																								
	検査路 B 2	k g																								
単価表の項目	区分内容																									
B	下部工の試料採取をいう。試料採取の施工は、1 箇所当たり深さ 8 cm とし、2 cm 毎の深さで 4 試料を採取するものとする。																									
正	<div><div><table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一（7）</td><td>設置工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>A 1</td><td>m</td></tr><tr><td></td><td>A 2</td><td>m</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>検査路 B 1</td><td>k g</td></tr><tr><td></td><td>検査路 B 2</td><td>k g</td></tr></table></div><div><p>2 5 - 2 0 試料採取</p><p>2 5 - 2 0 - 1 定義</p><p>試料採取とは、設計図書及び監督員の指示に従って、断面修復工の施工に先立ち既設コンクリート構造物から試料を採取することをいう。</p><p>2 5 - 2 0 - 2 種別</p><p>試料採取の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>B</td><td>断面修復箇所の試料採取をいう。試料採取の施工は、1 箇所当たり深さ 8 cm とし、2 cm 毎の深さで 4 試料を採取するものとする。</td></tr></table><p>採取した試料については、監督員へ引き渡すものとする。なお、監督員は採取した試料について塩分量調査を行い、塩分量調査結果により補修方法の変更を監督員が指示した場合は、受注者はその指示に従うものとし、これに要する費用については、別途、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</p><p>2 5 - 2 0 - 3 施工</p><p>(1) 試料採取の施工箇所は設計図書に示すとおりとし、その詳細な位置については監督員と受注者で協議のうえ、決定するものとする。</p><p>(2) 試料採取にあたっては、鉄筋探査を実施し既設鉄筋を切断しない位置を選定するとともに、配筋状況及びかぶり厚さを確認し、記録するものとする。</p><p>(3) 試料の採取方法は、調査要領 第二編 橋梁 第 3 章「コンクリート」1 - 3 - 2（1）「塩害対策」のドリル法によるものとし、採取した試料を試料収集用袋に回収し、計量器で採取量を計測する。</p><p>(4) 試料採取量は 1 試料当たり 5 0 g 以上とする。採取量が足りない場合は、対象の層を追加・削孔し、再度計量を行うものとする。</p><p>(5) 試料採取に合わせて、削孔箇所での中性化深さの測定（フェノールフタレイン 1 % 溶液の噴霧）を行い、結果を監督員に報告するものとする。</p><p>(6) 試料採取後は、ブラシを用いて坑内に残った粉等を清掃し、断面修復材にて修復するものとし、使用する材料は、構造物施工管理要領Ⅲ保全編 3 - 3 - 4「断面修復の要求性能」及びⅢ保全編 3 - 3 - 5「断面修復の性能照査」の規定に適合するものでなければならない。</p><p>2 5 - 2 0 - 4 数量の検測</p><p>試料採取 B の数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。</p><p>47</p></div></div>		単価表の項目	検測の単位	特一（7）	設置工			A 1	m		A 2	m		B	箇所		検査路 B 1	k g		検査路 B 2	k g	単価表の項目	区分内容	B	断面修復箇所の試料採取をいう。試料採取の施工は、1 箇所当たり深さ 8 cm とし、2 cm 毎の深さで 4 試料を採取するものとする。
	単価表の項目	検測の単位																								
特一（7）	設置工																									
	A 1	m																								
	A 2	m																								
	B	箇所																								
	検査路 B 1	k g																								
	検査路 B 2	k g																								
単価表の項目	区分内容																									
B	断面修復箇所の試料採取をいう。試料採取の施工は、1 箇所当たり深さ 8 cm とし、2 cm 毎の深さで 4 試料を採取するものとする。																									
備考	特記仕様書 2 5 - 2 0 - 2 種別の記載内容を修正。																									



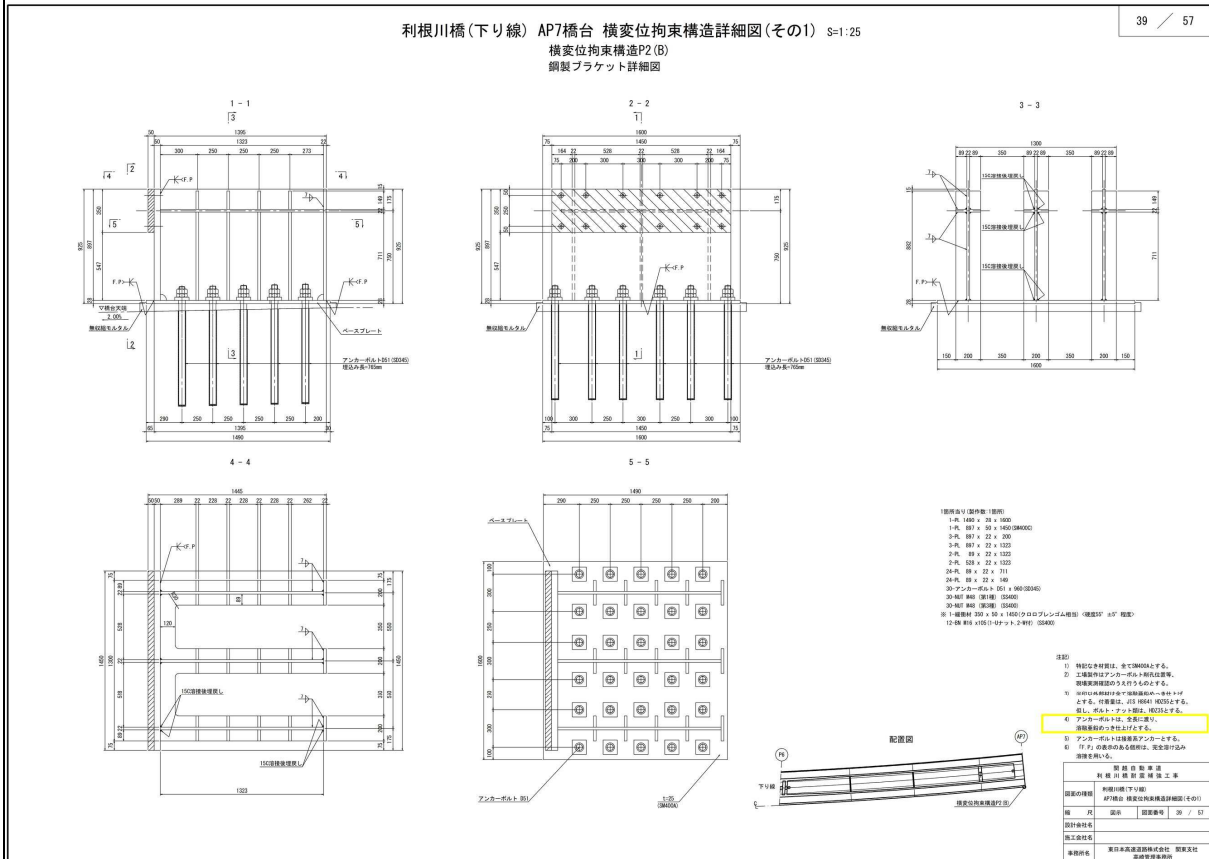
対象	設計図面 利根川橋（下り線）A1橋台 段差防止装置詳細図（その2）(29/57)										
誤	<div data-bbox="199 190 1412 1081"> <div data-bbox="603 203 1040 259"> 利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2) S=1:25 段差防止装置M1 鋼製ブラケット </div> <div data-bbox="1326 197 1390 215"> 29 / 57 </div> <div data-bbox="384 271 730 936"> </div> <div data-bbox="879 271 1134 689"> </div> <div data-bbox="1230 584 1358 689"> </div> <div data-bbox="879 719 1166 869"> </div> <div data-bbox="1230 786 1401 936"> <p>1) 特設な歩行面は、全てR900とする。 2) 特設な歩行面は、全てR900とする。 3) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 4) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 5) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 6) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 7) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 8) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 9) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 10) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。</p> </div> <div data-bbox="1257 936 1401 1025"> <table border="1"> <tr> <td>図面番号</td><td>29 / 57</td></tr> <tr> <td>図面名称</td><td>利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2)</td></tr> <tr> <td>図面内容</td><td>鋼製ブラケット</td></tr> <tr> <td>図面作成</td><td>東日本建設設計株式会社 橋梁設計部</td></tr> <tr> <td>図面確認</td><td>橋梁設計部</td></tr> </table> </div> </div>	図面番号	29 / 57	図面名称	利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2)	図面内容	鋼製ブラケット	図面作成	東日本建設設計株式会社 橋梁設計部	図面確認	橋梁設計部
図面番号	29 / 57										
図面名称	利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2)										
図面内容	鋼製ブラケット										
図面作成	東日本建設設計株式会社 橋梁設計部										
図面確認	橋梁設計部										
正	<div data-bbox="199 1135 1412 2121"> <div data-bbox="603 1149 1040 1205"> 利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2) S=1:25 段差防止装置M1 鋼製ブラケット </div> <div data-bbox="1326 1142 1390 1160"> 29 / 57 </div> <div data-bbox="384 1216 730 1881"> </div> <div data-bbox="879 1216 1134 1635"> </div> <div data-bbox="1230 1529 1358 1635"> </div> <div data-bbox="879 1664 1166 1814"> </div> <div data-bbox="1230 1731 1401 1881"> <p>1) 特設な歩行面は、全てR900とする。 2) 特設な歩行面は、全てR900とする。 3) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 4) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 5) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 6) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 7) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 8) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 9) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。 10) 鋼材は、全て熱処理メッキとする。</p> </div> <div data-bbox="1257 1881 1401 1971"> <table border="1"> <tr> <td>図面番号</td><td>29 / 57</td></tr> <tr> <td>図面名称</td><td>利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2)</td></tr> <tr> <td>図面内容</td><td>鋼製ブラケット</td></tr> <tr> <td>図面作成</td><td>東日本建設設計株式会社 橋梁設計部</td></tr> <tr> <td>図面確認</td><td>橋梁設計部</td></tr> </table> </div> </div>	図面番号	29 / 57	図面名称	利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2)	図面内容	鋼製ブラケット	図面作成	東日本建設設計株式会社 橋梁設計部	図面確認	橋梁設計部
図面番号	29 / 57										
図面名称	利根川橋(下り線) A1橋台 段差防止装置詳細図(その2)										
図面内容	鋼製ブラケット										
図面作成	東日本建設設計株式会社 橋梁設計部										
図面確認	橋梁設計部										
備考	注記の訂正										



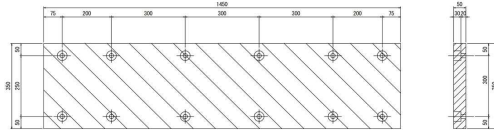
<div>対象</div> <div>誤</div>	<div>設計図面 利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その1）（37/57）</div> <div> <div>利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その1） S=1:25</div> <div>横変位拘束構造P1 (B)</div> <div>鋼製ブラケット詳細図</div> <div> </div> </div>
<div>正</div>	<div>利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その1） S=1:25</div> <div>横変位拘束構造P1 (B)</div> <div>鋼製ブラケット詳細図</div> <div> </div>
<div>備考</div>	<div>注記の訂正</div>

対象	設計図面 利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2）（38/57）												
誤	<div data-bbox="592 210 1064 248"> 利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2） S=1:12.5 横変位拘束構造P1 (B) </div> <div data-bbox="1326 203 1390 221"> 38 / 57 </div> <div data-bbox="464 322 533 336"> 緩衝材詳細図 </div> <div data-bbox="268 394 778 524"> </div> <div data-bbox="1031 322 1144 336"> アンカーボルト詳細図 </div> <div data-bbox="884 360 1362 584"> </div> <div data-bbox="328 618 456 633"> 緩衝材取付詳細図 S=1:5 </div> <div data-bbox="296 658 469 770"> </div> <div data-bbox="549 618 608 633"> 座金詳細図 </div> <div data-bbox="549 658 608 770"> </div> <div data-bbox="440 808 553 840"> アンカーボルト詳細図 あと施工アンカー工B（下向き） ボルト径 90 </div> <div data-bbox="341 840 687 965"> </div> <div data-bbox="1246 853 1390 1043"> <p>注記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特記な事項等は、全て適用とする。 2 図面は材料指定を以て機能指定の仕様と見做す。仕様書、JIS 規格、JIS 規格と見做す。仕様書、JIS 規格、JIS 規格と見做す。仕様書、JIS 規格、JIS 規格と見做す。 3 アンカーボルトは、各記号に示す、仕様書に示す仕様とする。 4 工機製作はアンカーボルト部を除く。仕様書に示す仕様とする。 5 アンカーボルトは標準系アンカーとする。 <table border="1"> <tr> <td>図面の種類</td><td>利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2）</td></tr> <tr> <td>図面番号</td><td>38 / 57</td></tr> <tr> <td>設計者</td><td>設計者</td></tr> <tr> <td>監理者</td><td>監理者</td></tr> <tr> <td>製図者</td><td>製図者</td></tr> <tr> <td>承認者</td><td>承認者</td></tr> </table> </div>	図面の種類	利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2）	図面番号	38 / 57	設計者	設計者	監理者	監理者	製図者	製図者	承認者	承認者
図面の種類	利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2）												
図面番号	38 / 57												
設計者	設計者												
監理者	監理者												
製図者	製図者												
承認者	承認者												
正	<div data-bbox="592 1155 1064 1193"> 利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2） S=1:12.5 横変位拘束構造P1 (B) </div> <div data-bbox="1326 1149 1390 1167"> 38 / 57 </div> <div data-bbox="464 1267 533 1281"> 緩衝材詳細図 </div> <div data-bbox="268 1339 778 1469"> </div> <div data-bbox="1031 1267 1144 1281"> アンカーボルト詳細図 </div> <div data-bbox="884 1305 1362 1529"> </div> <div data-bbox="328 1563 456 1579"> 緩衝材取付詳細図 S=1:5 </div> <div data-bbox="296 1603 469 1715"> </div> <div data-bbox="549 1563 608 1579"> 座金詳細図 </div> <div data-bbox="549 1603 608 1715"> </div> <div data-bbox="440 1753 553 1785"> アンカーボルト詳細図 あと施工アンカー工B（下向き） ボルト径 90 </div> <div data-bbox="341 1785 687 1910"> </div> <div data-bbox="1246 1798 1390 1989"> <p>注記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特記な事項等は、全て適用とする。 2 図面は材料指定を以て機能指定の仕様と見做す。仕様書、JIS 規格、JIS 規格と見做す。仕様書、JIS 規格、JIS 規格と見做す。 3 アンカーボルトは、各記号に示す、仕様書に示す仕様とする。 4 工機製作はアンカーボルト部を除く。仕様書に示す仕様とする。 5 アンカーボルトは標準系アンカーとする。 <table border="1"> <tr> <td>図面の種類</td><td>利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2）</td></tr> <tr> <td>図面番号</td><td>38 / 57</td></tr> <tr> <td>設計者</td><td>設計者</td></tr> <tr> <td>監理者</td><td>監理者</td></tr> <tr> <td>製図者</td><td>製図者</td></tr> <tr> <td>承認者</td><td>承認者</td></tr> </table> </div>	図面の種類	利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2）	図面番号	38 / 57	設計者	設計者	監理者	監理者	製図者	製図者	承認者	承認者
図面の種類	利根川橋（下り線）P2橋脚 横変位拘束構造詳細図（その2）												
図面番号	38 / 57												
設計者	設計者												
監理者	監理者												
製図者	製図者												
承認者	承認者												
備考	注記の訂正												

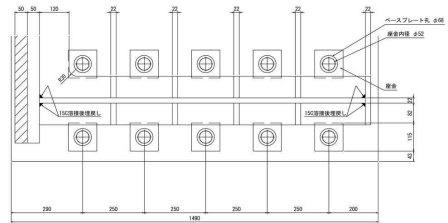
誤



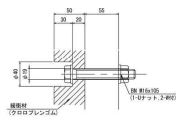
緩衝材詳細図



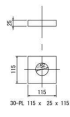
アンカーボルト詳細図



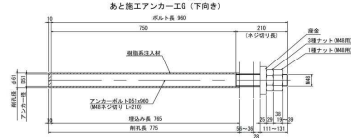
緩衝材取付詳細図 S= 1:5



座金詳細図



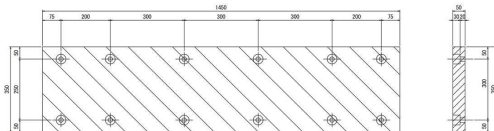
アンカーボルト詳細図



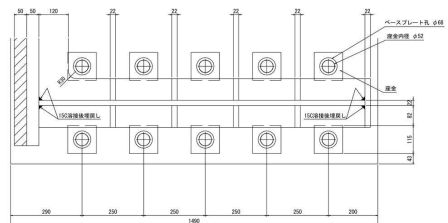
- 注記
- 1) 特記なき材質は、全てS30408とする。
 - 2) 鋼印以外部材は全て溶融鋳造のつき仕上げとする。内径基準。JIS B8041・JIS2254とする。
管は、ボルト・ナット部は、JIS235とする。
 - 3) アンカーボルトは、全長に渡り、
消磁処理のつき仕上げとする。
 - 4) 工場製作はアンカーボルト和爪底面等、
現場実測確認のうえ行いものとする。
 - 5) アンカーボルトは継ぎ目系アンカーとする。

新築自動車道 利根川橋梁新築補強工事				
図面の種類	利根川橋(下り橋) A7橋台 補強工事実施線図詳細図(その①)			
幅 尺	提示	図面番号	40 / 57	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 高岡管理事務所			

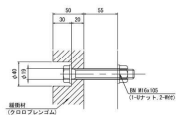
緩衝材詳細図



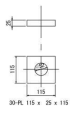
アンカーボルト詳細図



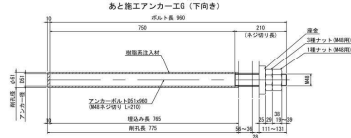
緩衝材取付詳細図 S= 1:5



座金詳細図



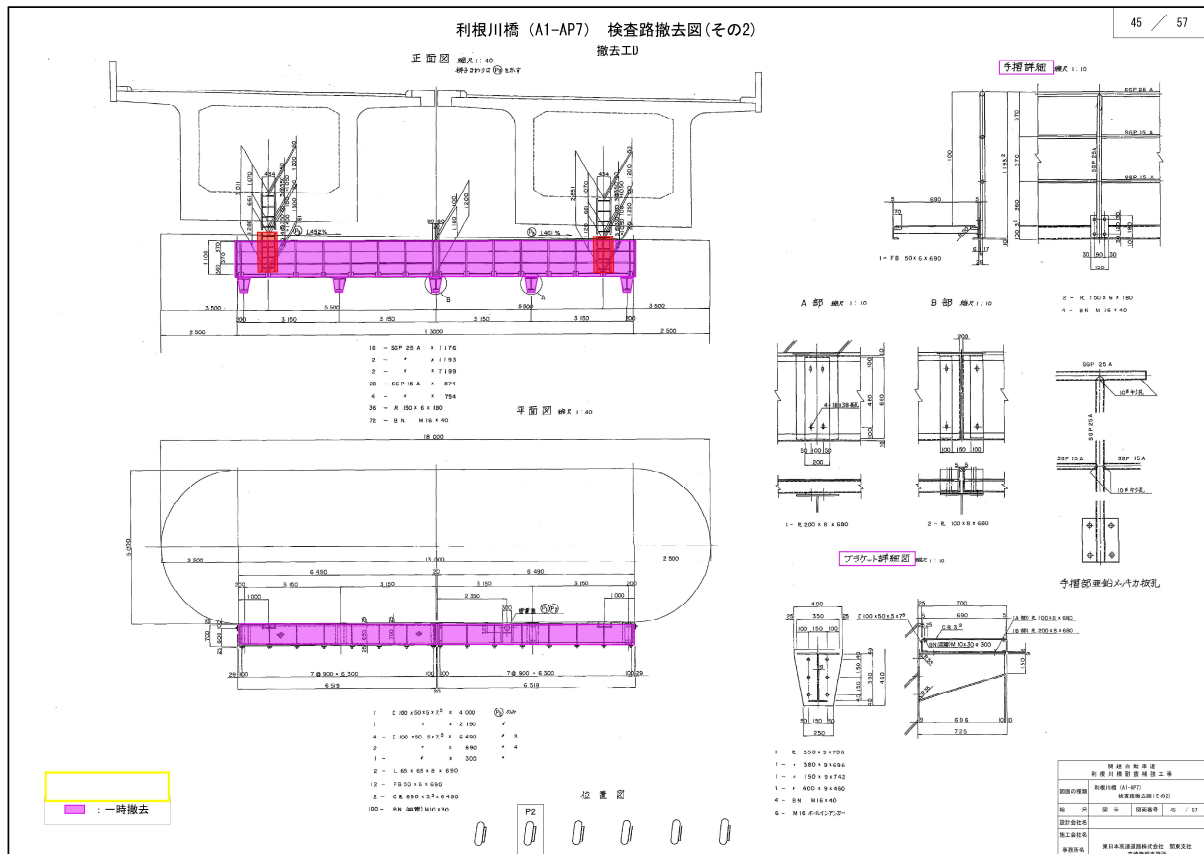
アンカーボルト詳細図



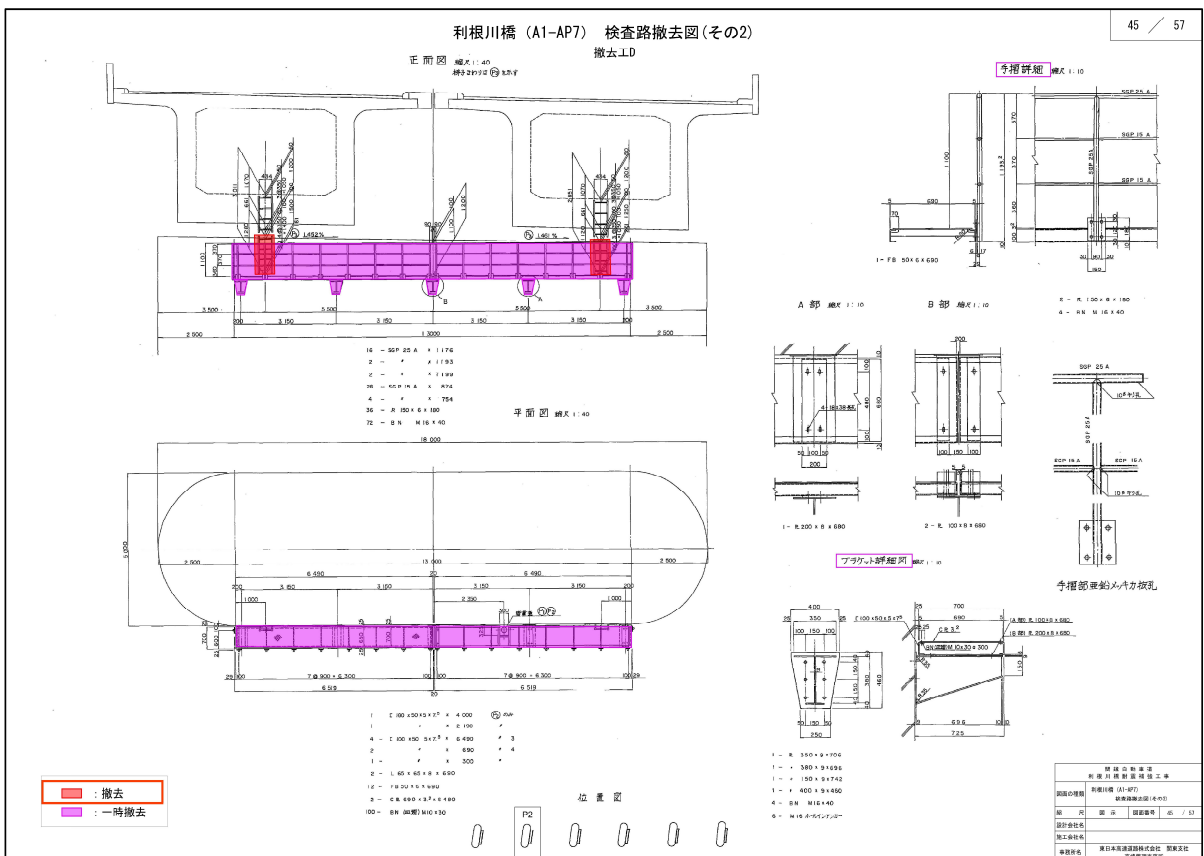
- 注記)
- 1) 特記なき材質は、全てS45Cとする。
 - 2) 鋼印および外部は全て油膜処理のきつ仕上げとする。材質番号は、JIS S45C、H45Cとする。但し、ボルト・ナット類は、H45Cとする。
 - 3) アンカーボルトは、ネジ切り部のみ油膜処理のきつ仕上げとする。
 - 4) 工場検査はアンカーボルト取付位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 5) アンカーボルトは埋置系アンカーとする。

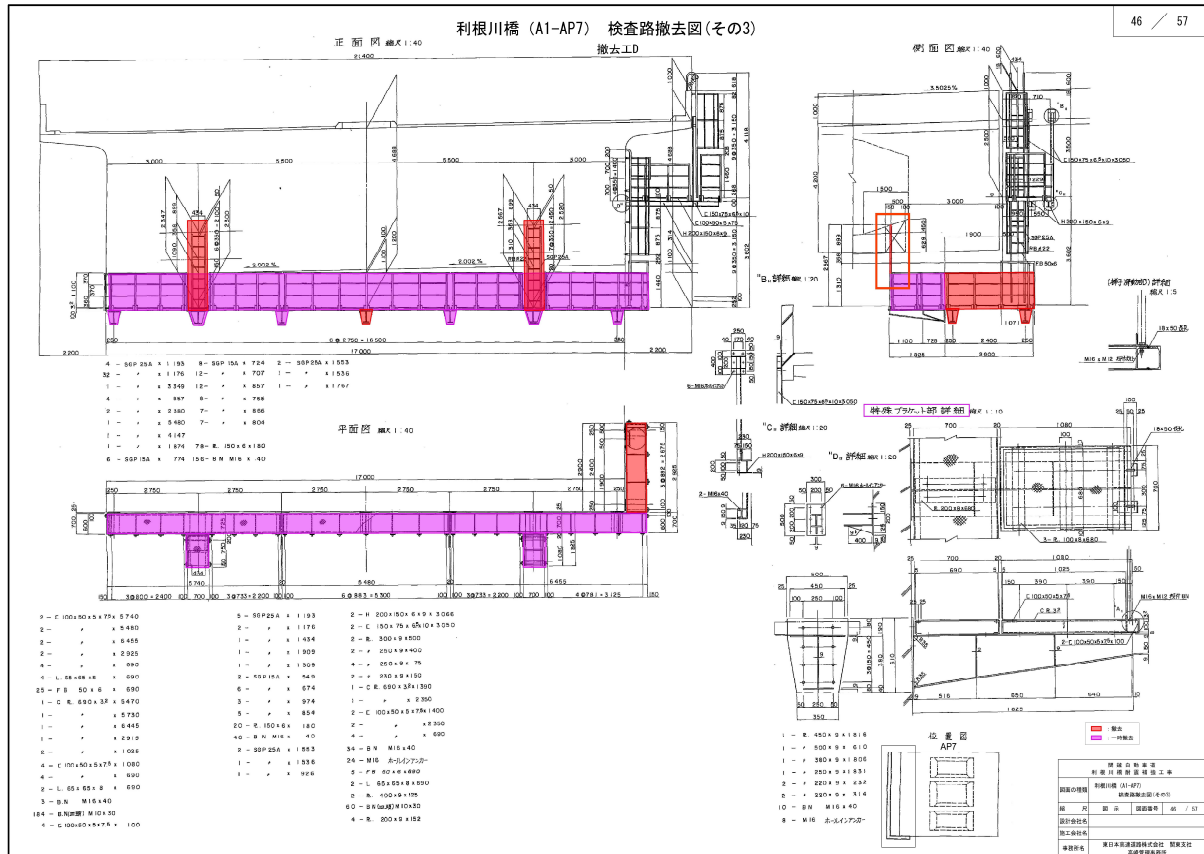
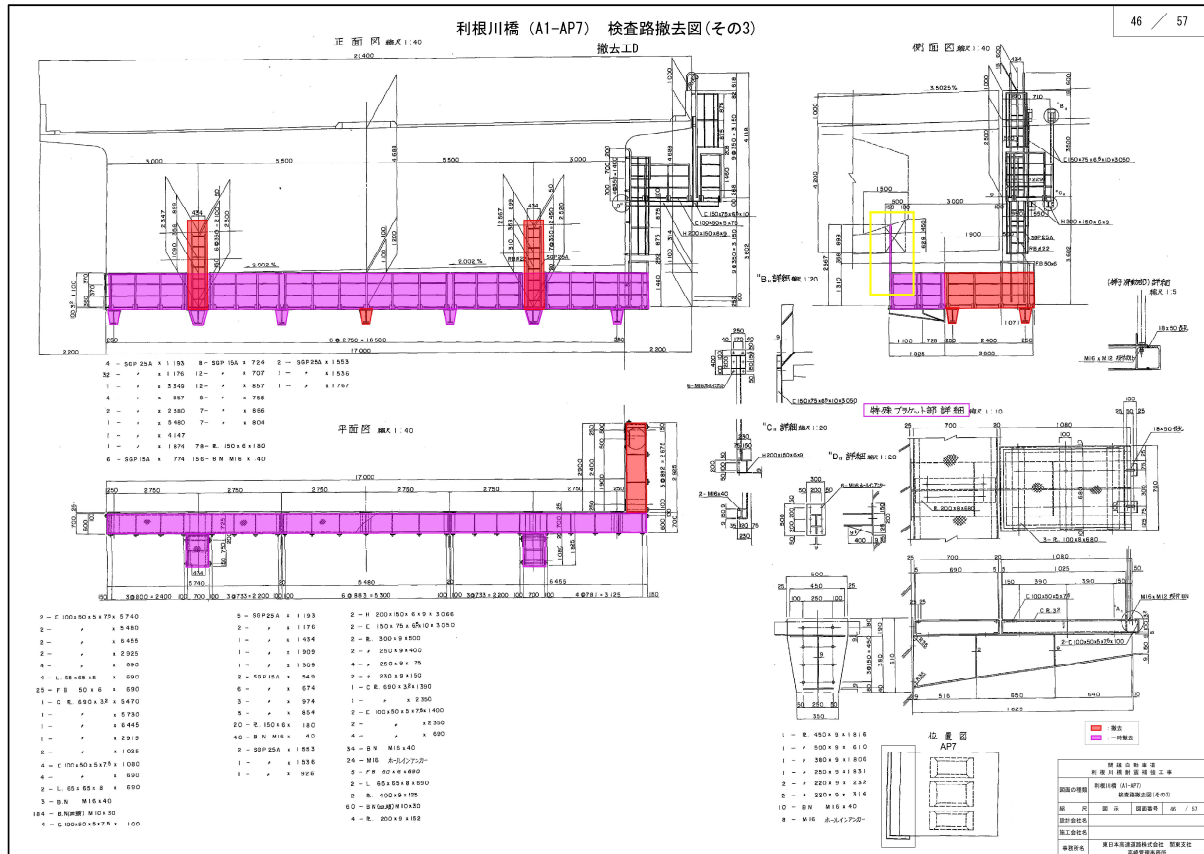
関越自動車道 利根川橋梁補強工事	
河川の種別	利根川(下流部) AP7地点 横谷川支流横谷津地区(その他)
橋 尺	図示 図面番号 40 / 57
設計会社名	
施工会社名	
事例所名	東日本高速道路株式会社 関東支社

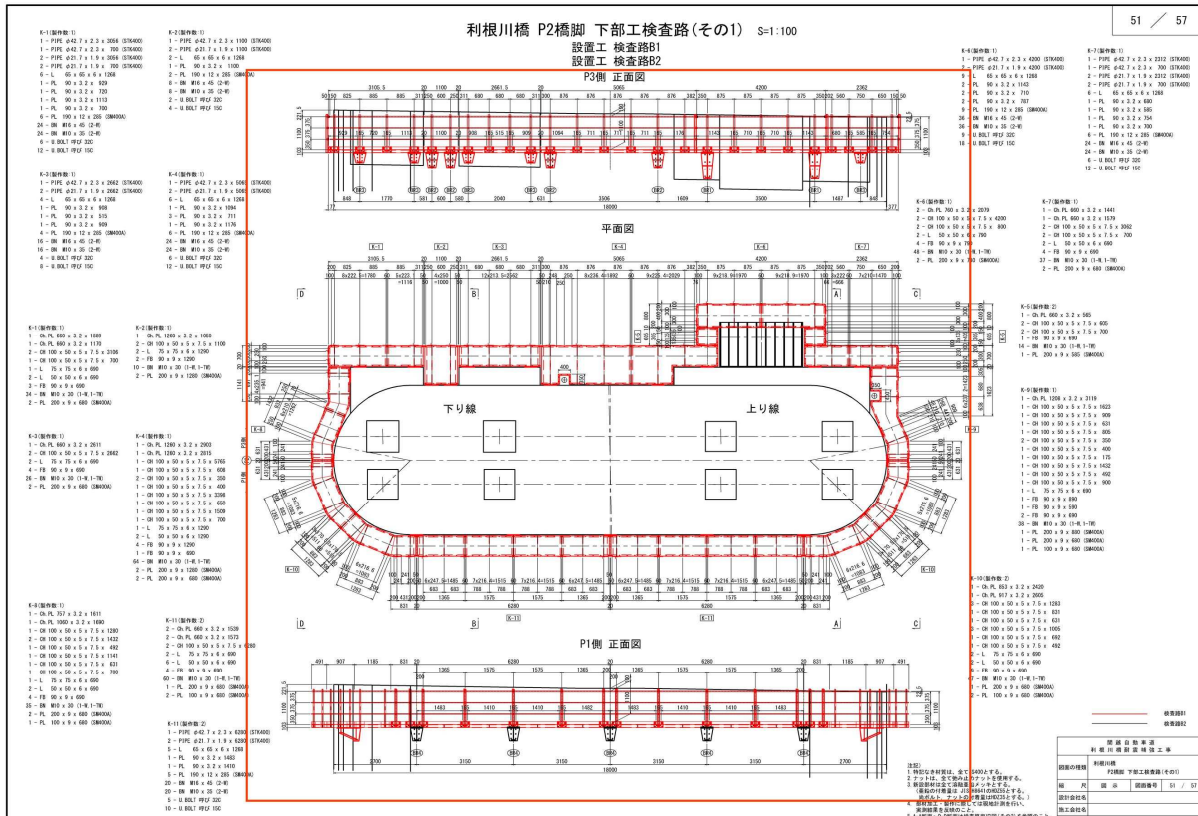
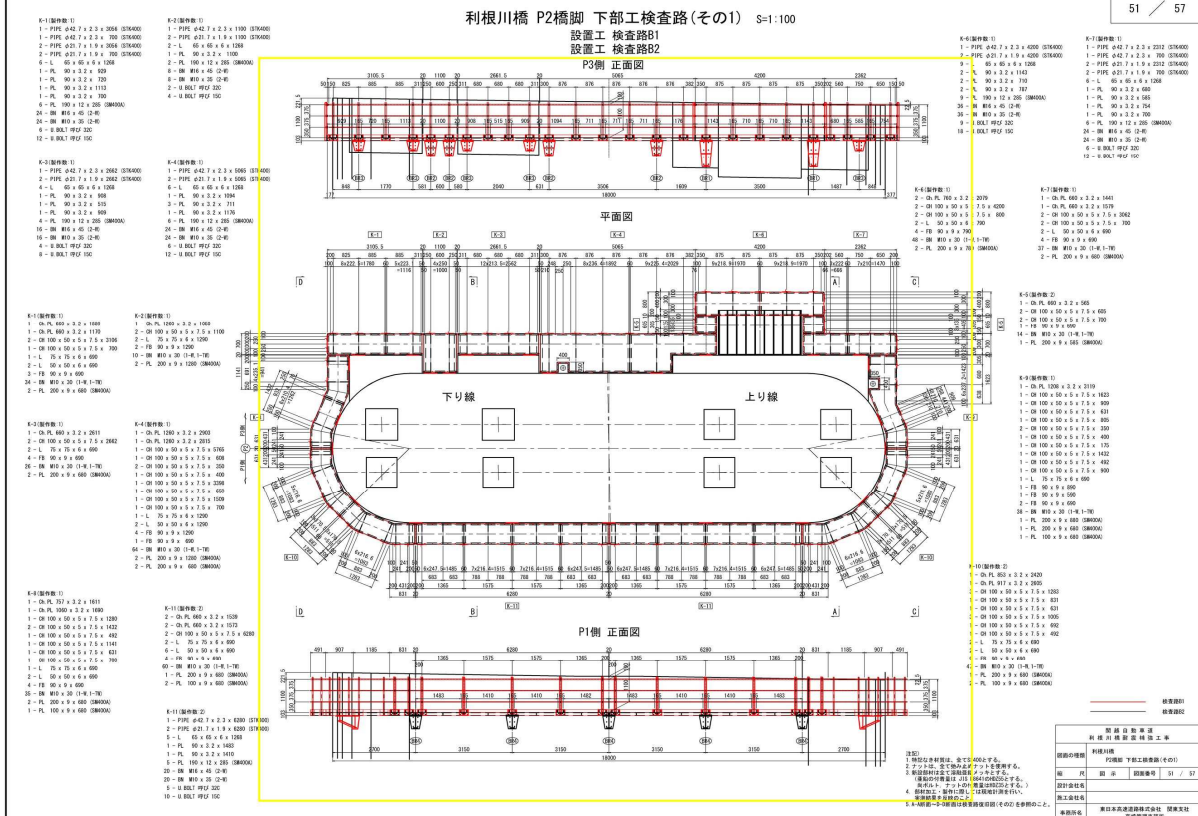
誤



正







対象
誤

設計図面 利根川橋（上り線）A2橋台 落橋防止構造詳細図（その1）（13/87）

利根川橋（上り線）A2橋台 落橋防止構造詳細図（その1） S=1:25
落橋防止構造P-1092 (250)
析補強詳細図

上部エブラケット詳細図

下部エブラケット
TYPE-1 (TYPE-2) (TYPE-3)

1-1 4-4 側面図 6-6 (5' - 6') 7-7 8-8

2-2 5-5 フィラープレート詳細 a部詳細 S=1:10 9-9 10-10 3-3

アンカーボルト詳細図 S=1:5
あと施工アンカー工（掘向き）

プラケットと橋台（断面）（4層）

2-PL 270x124x15
2-PL 270x124x15
4-PL 100x25x18
2-PL 100x25x18
1-PL 480x25x18
6-Aw 8x1 240x140 (250x2)
6-18Mx 縦向き (250x2)
6-18Mx 縦向き (250x2)
6-Rubber 縦向き (250x2)

（注）

1. 類似な材料指定を全て削除する。
2. 類似な材料指定を全て削除する。
3. 工量算には標準実用設計の寸法を用いる。
4. 上記の寸法は、析補強部材の寸法と一致するものとする。
5. 析補強部材の寸法は、析補強部材の寸法と一致するものとする。
6. 析補強部材の寸法は、析補強部材の寸法と一致するものとする。

析補強部材：25.5φ、縦向き：25.5φとする。

図面の種類	図面番号	13 / 87
図面名	利根川橋（上り線）A2橋台 落橋防止構造詳細図（その1）	
設計者	設計者	
設計会社	設計会社	
施工会社	施工会社	
承認者	承認者	

正

利根川橋（上り線）A2橋台 落橋防止構造詳細図（その1） S=1:25
落橋防止構造P-1092 (250)
析補強詳細図

上部エブラケット詳細図

下部エブラケット
TYPE-1 (TYPE-2) (TYPE-3)

1-1 4-4 側面図 6-6 (5' - 6') 7-7 8-8

2-2 5-5 フィラープレート詳細 a部詳細 S=1:10 9-9 10-10 3-3

アンカーボルト詳細図 S=1:5
あと施工アンカー工（掘向き）

プラケットと橋台（断面）（4層）

2-PL 270x124x15
2-PL 270x124x15
4-PL 100x25x18
2-PL 100x25x18
1-PL 480x25x18
6-Aw 8x1 240x140 (250x2)
6-18Mx 縦向き (250x2)
6-18Mx 縦向き (250x2)
6-Rubber 縦向き (250x2)

（注）

1. 類似な材料指定を全て削除する。
2. 類似な材料指定を全て削除する。
3. 工量算には標準実用設計の寸法を用いる。
4. 上記の寸法は、析補強部材の寸法と一致するものとする。
5. 析補強部材の寸法は、析補強部材の寸法と一致するものとする。
6. 析補強部材の寸法は、析補強部材の寸法と一致するものとする。

析補強部材：25.5φ、縦向き：25.5φとする。

図面の種類	図面番号	13 / 87
図面名	利根川橋（上り線）A2橋台 落橋防止構造詳細図（その1）	
設計者	設計者	
設計会社	設計会社	
施工会社	施工会社	
承認者	承認者	

備考

注記の訂正

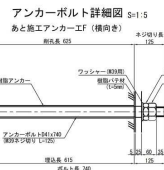
下部エブラケット



- 解説)
- 1. 特記な素材材費は全て80000とする。
 - 2. 特記なきスカーフは全て200とする。
 - 3. 工場製の環境実用国産のうしろものとする。
 - 4. 上級工芸品及び、特記無き主料と同等以上の防錆塗料を施すものとする。
 - 5. 但し、バルト・ナット・樹脂は略記とする。
 - 6. 髯の高力バルトは漆器類にも産金を用いるものとする。
 - 7. 特記なき札印は、
既設材料：24.5φ、新設材料：26.5φとする。

図面の仕様	和歌川橋(下り線) A2橋台 落橋防止構造詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	21 / 37
設計会社名			
監工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 高橋管理事務所		

下部エブラケット

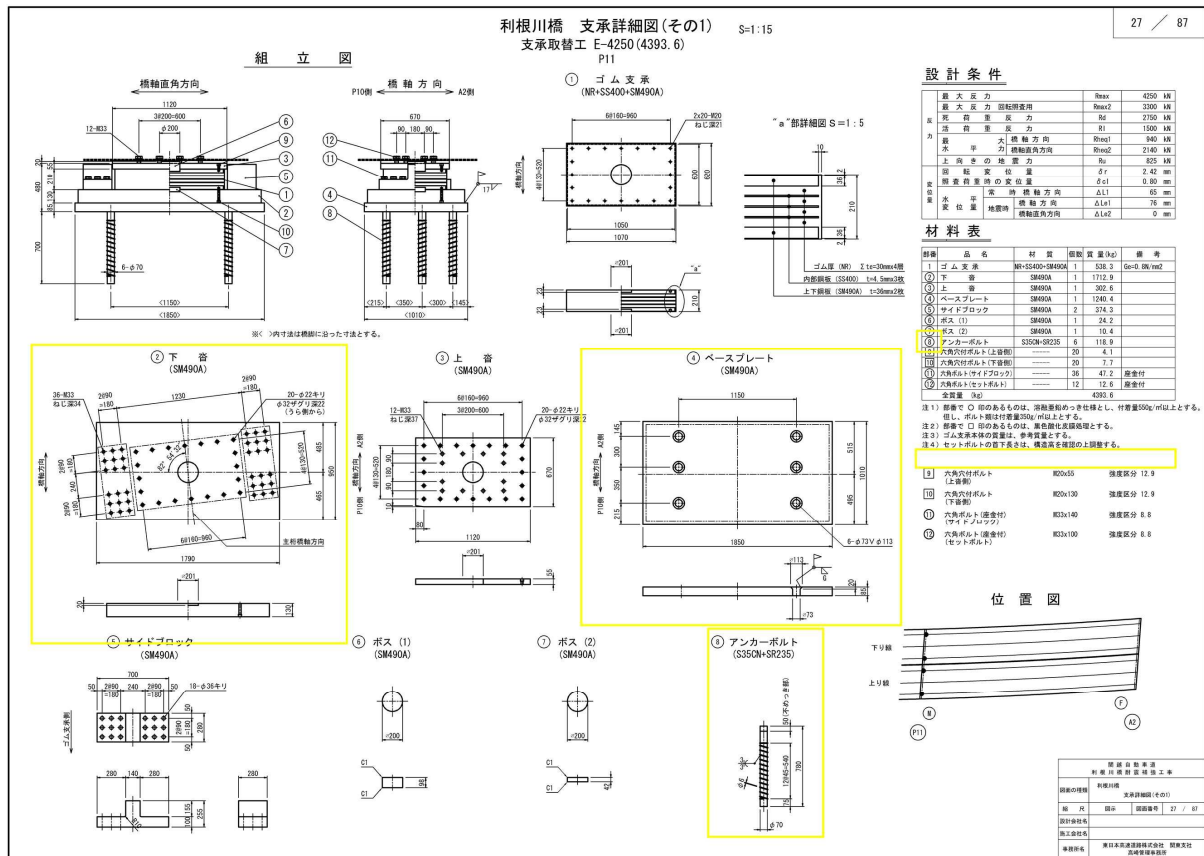


- ※記
- 1. 特記な材質は全てS400Aとする。
 - 2. 特記なきスカラーリングは全てS25とする。
 - 3. 工場製作はアンカーボルト取付位置等、現場実測確認のうえ行われるものとする。
 - 4. 上部工ブラケット及び、新橋強は主桁と同等以上の防錆措置を施すものとする。
 - 5. 下部工ブラケットに溶接部動メッキ処理とする。
(付着量は、JIS B8044 H25とする。
但し、ボルト・ナット端はH23とする。)

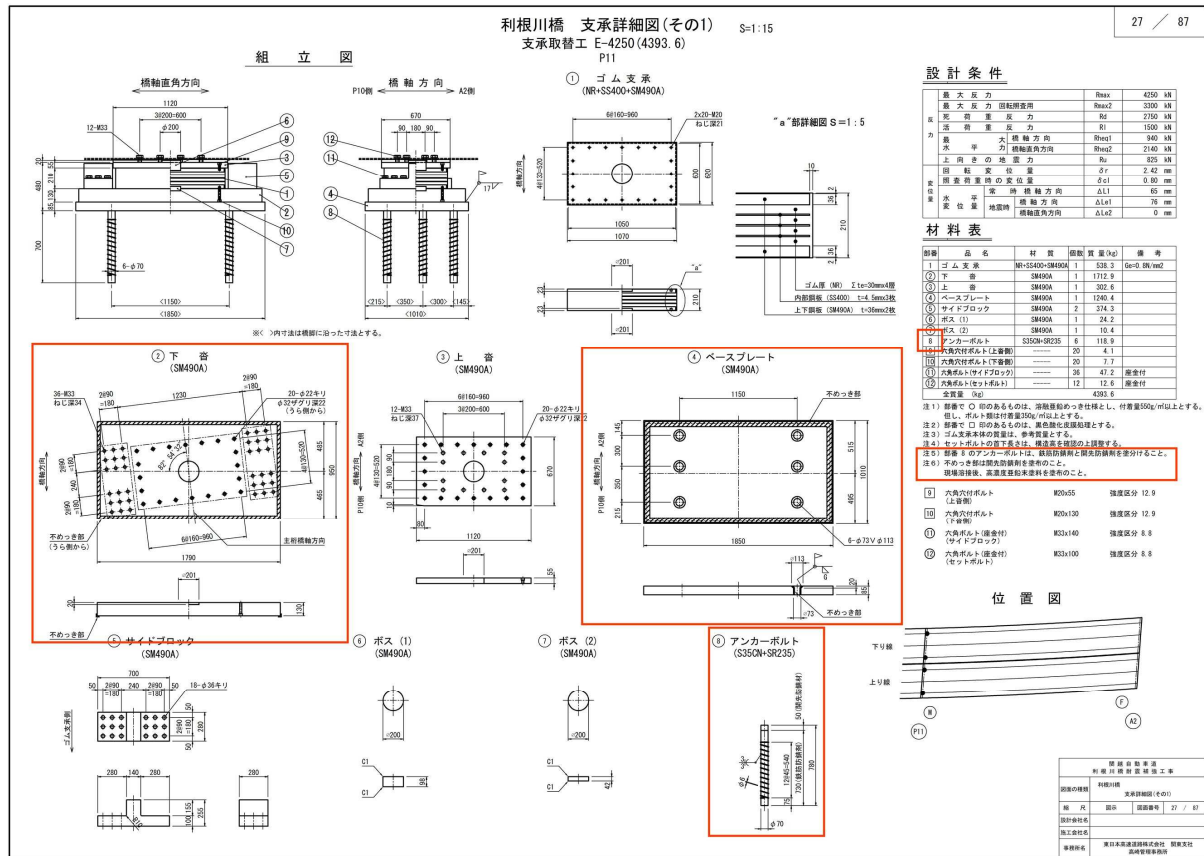
8. 事務用電力の配線は、図面通りに配線を用いるものとする。
9. 特記なき孔明けは、
既設部材：24.5φ、新設部材：26.5φとする。

問題 自動車道 利根川橋梁補強工事	
図面の種類	利用川橋(下り線) A2橋台 海構防止構造詳細図(その1)

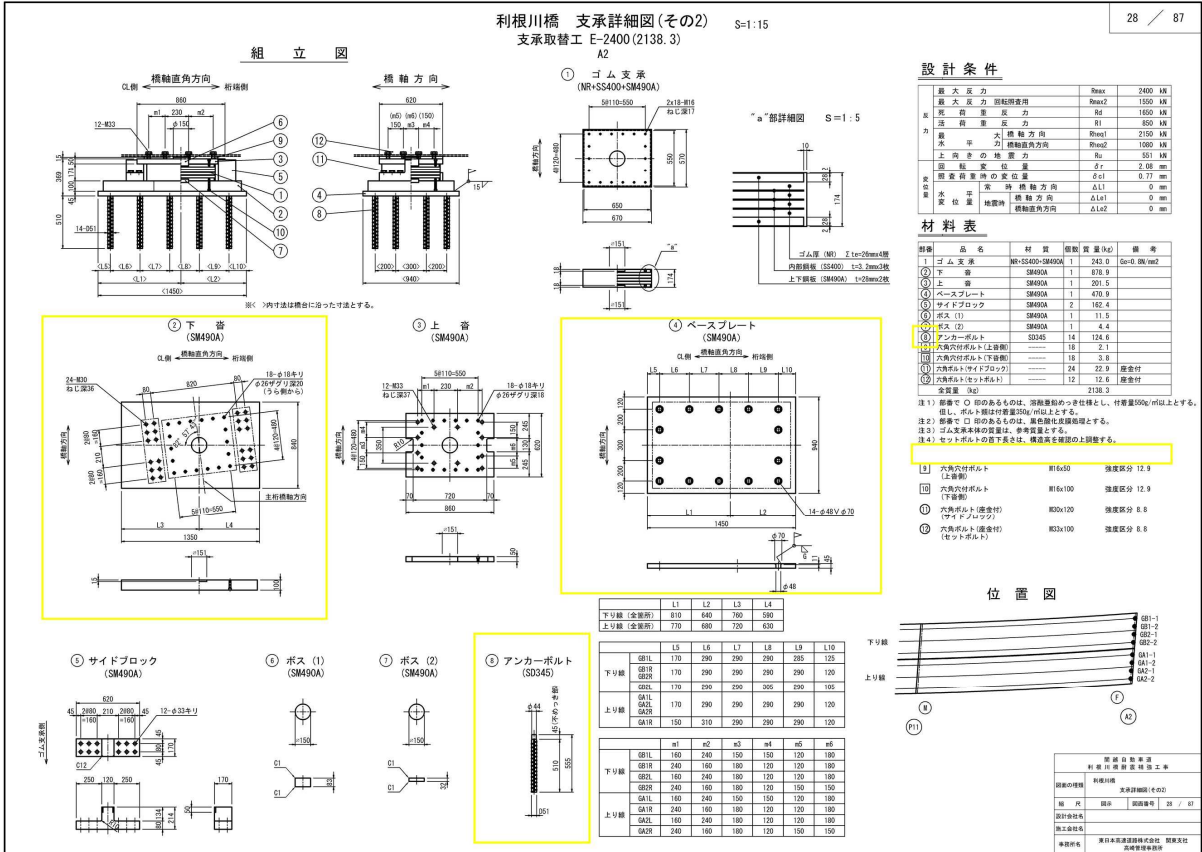
誤



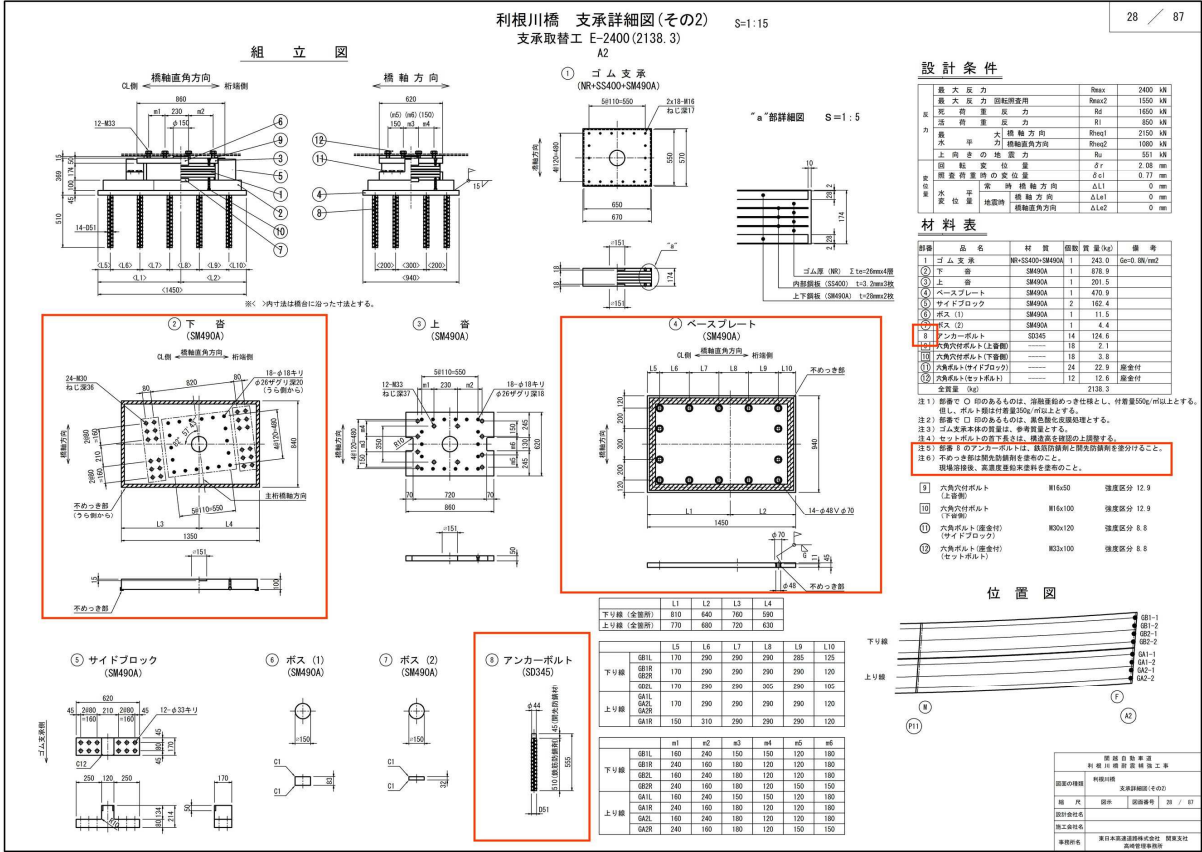
正



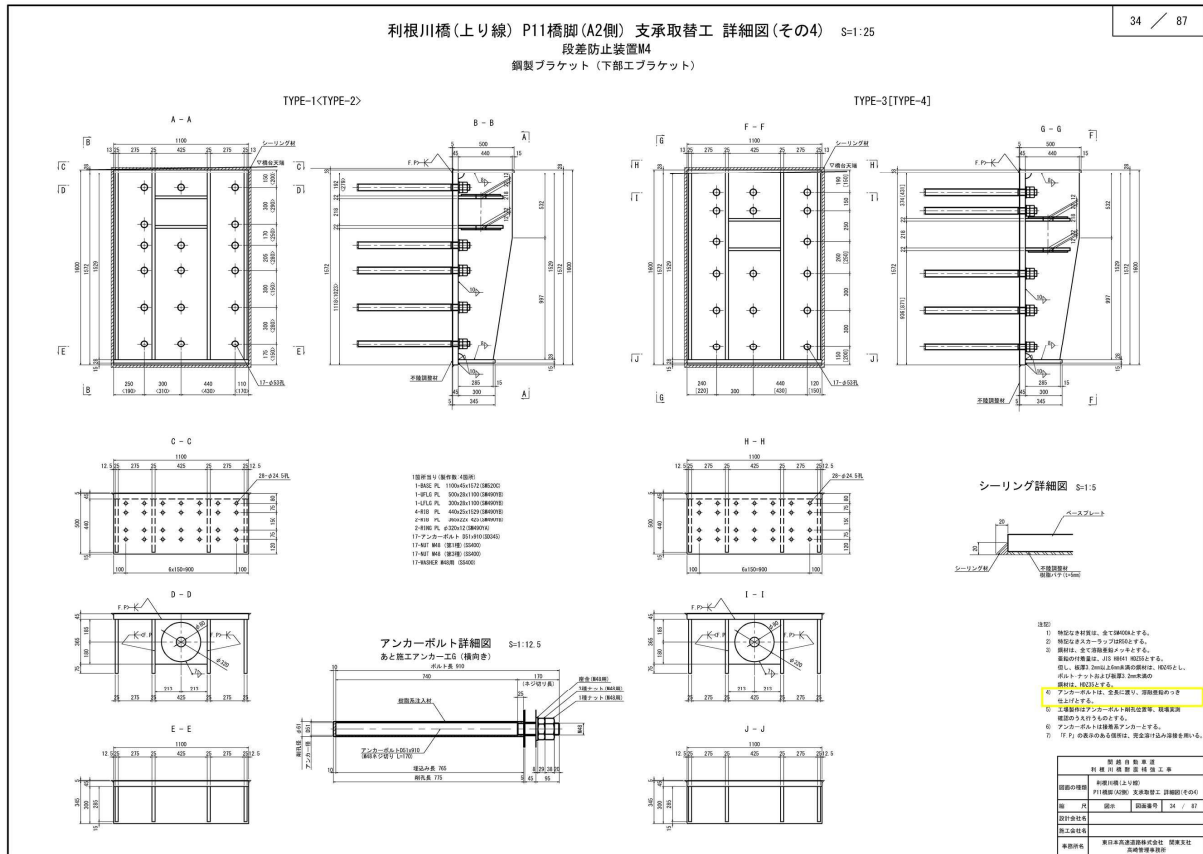
誤



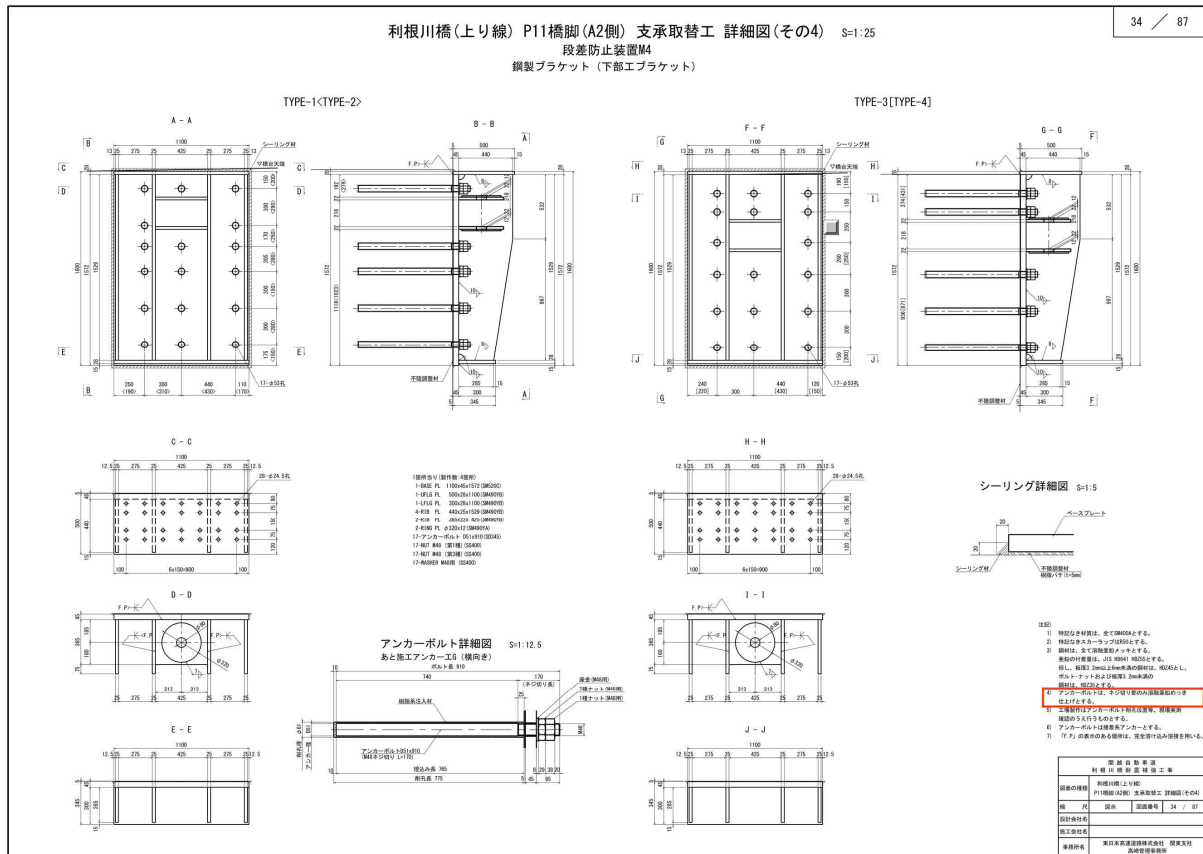
正

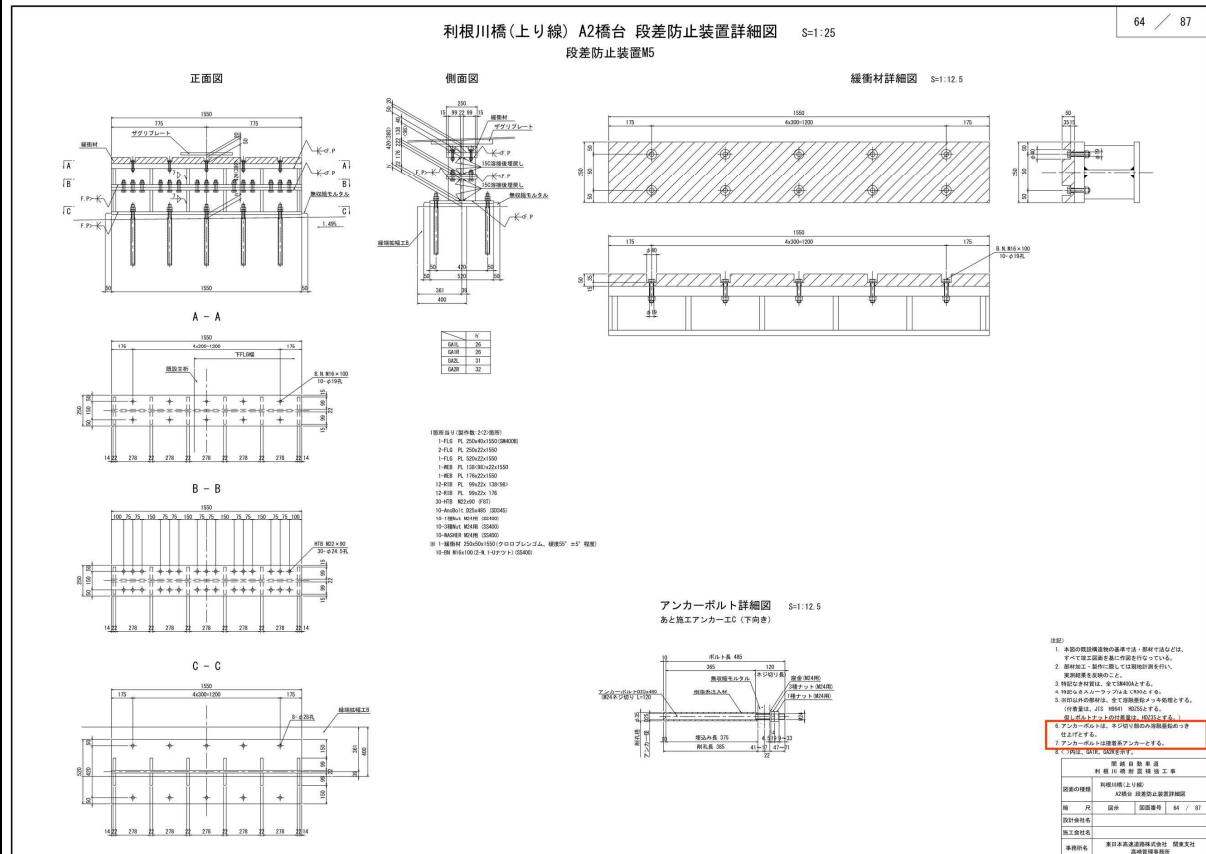
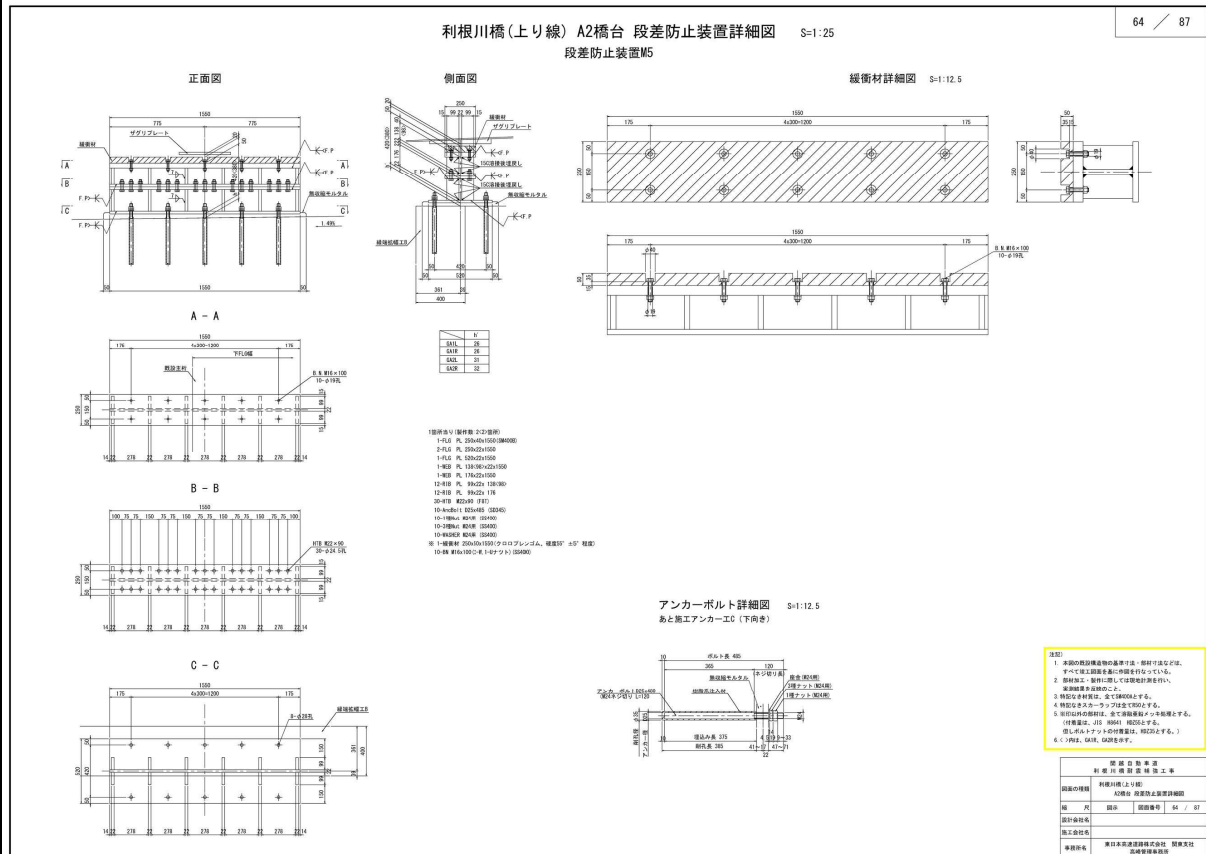


誤

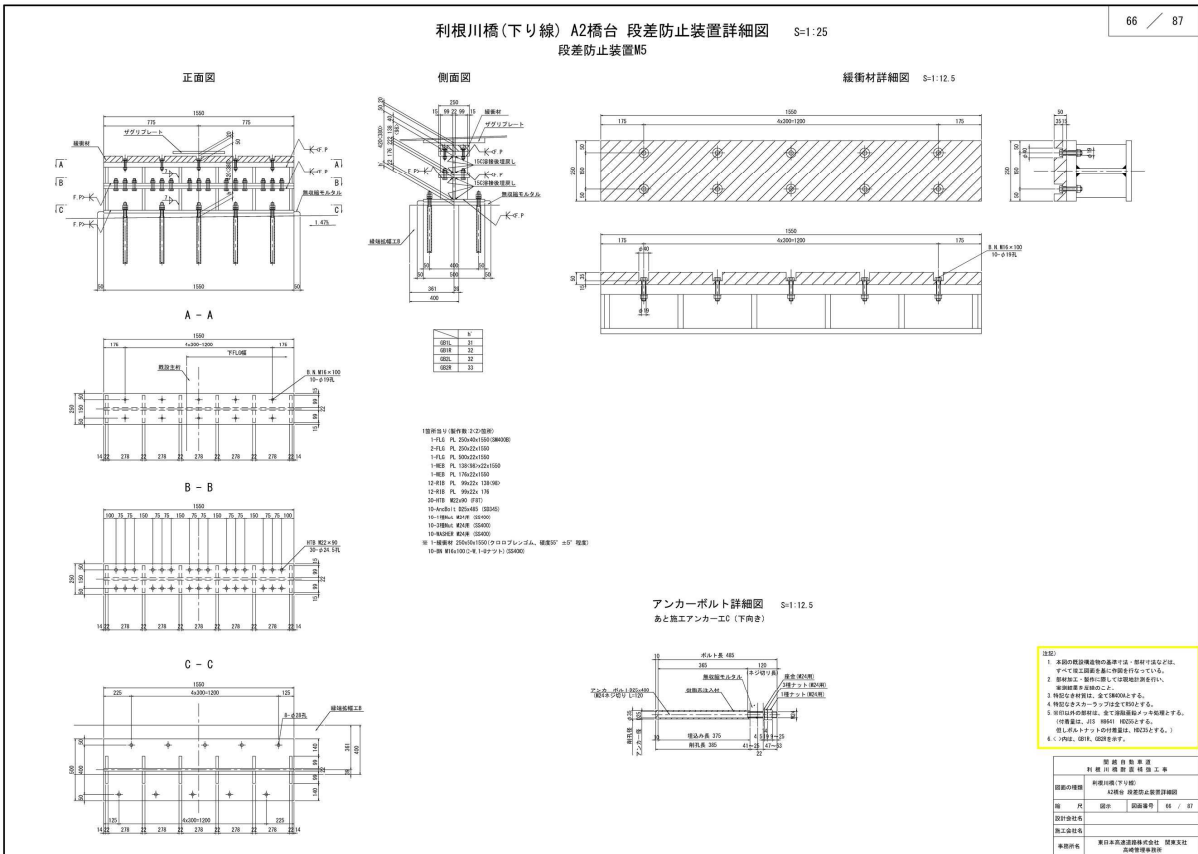


正

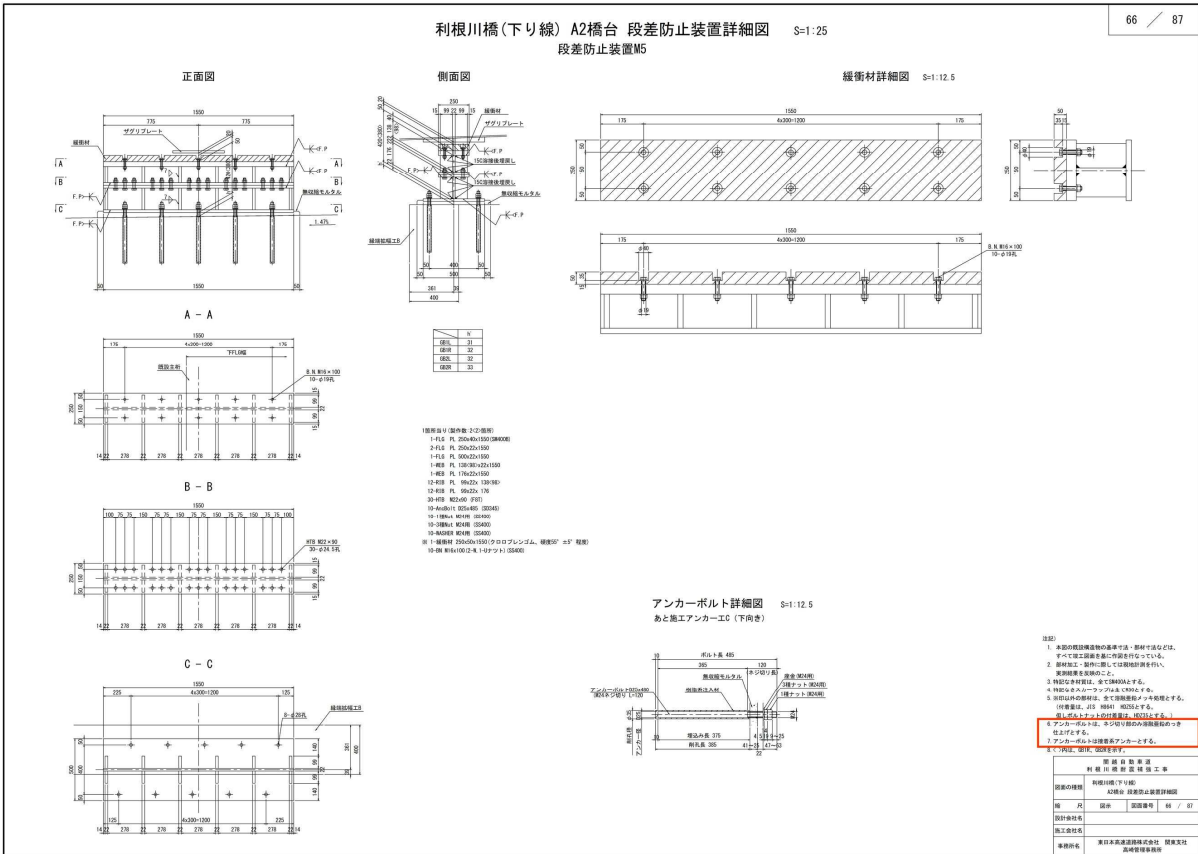




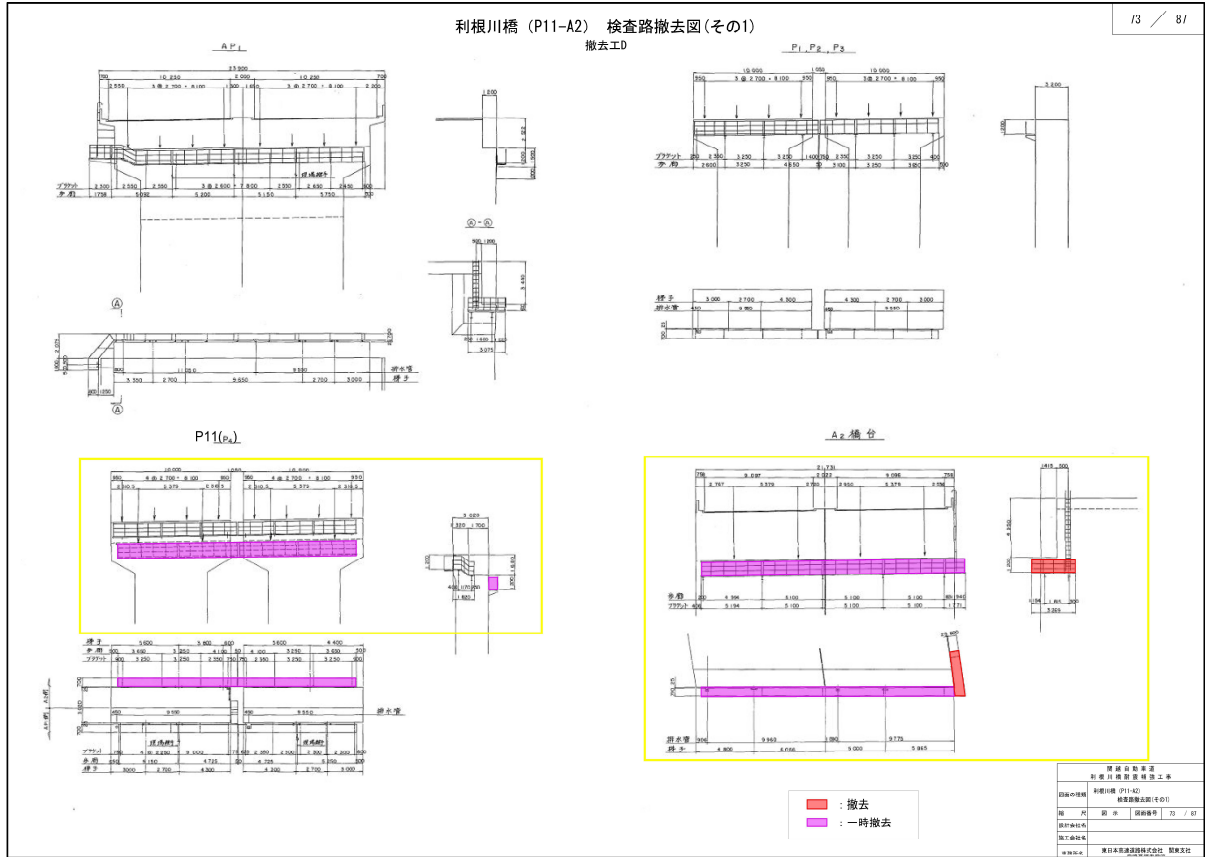
誤



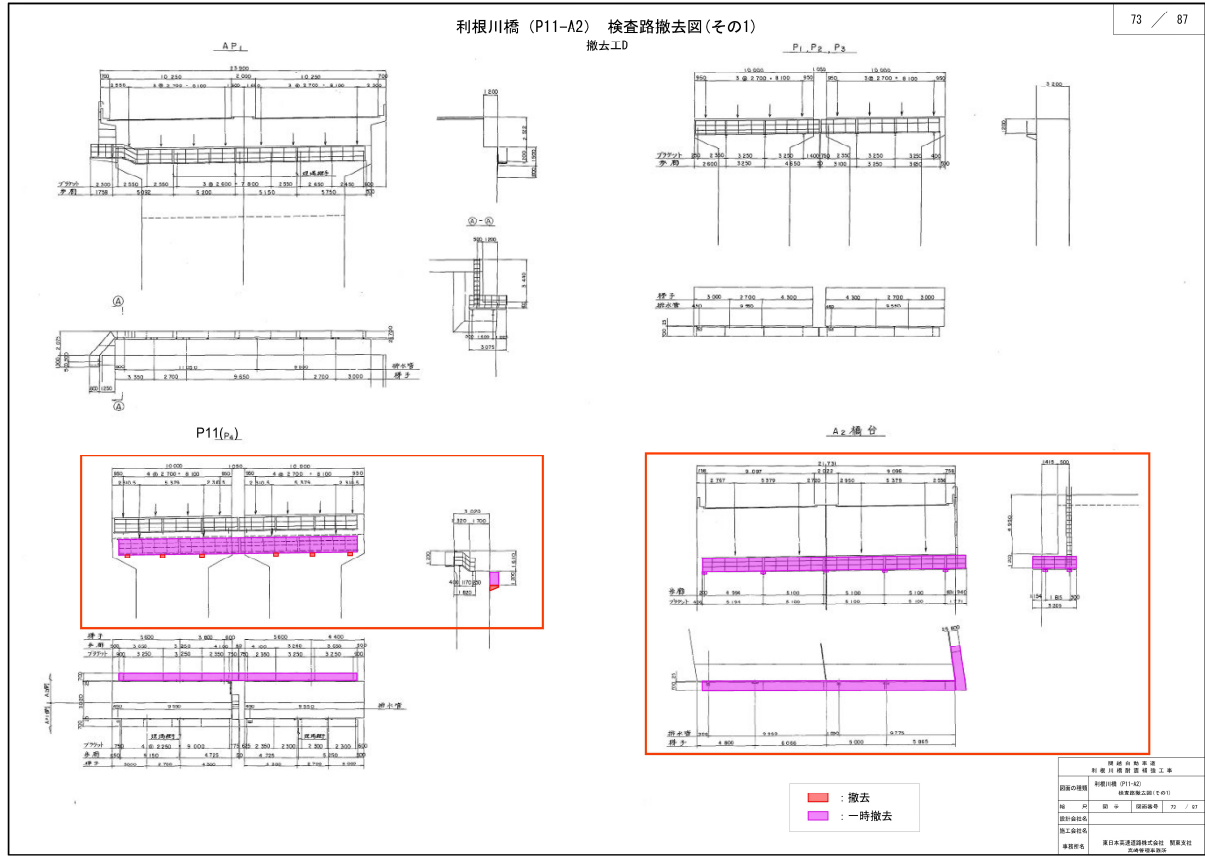
正



誤

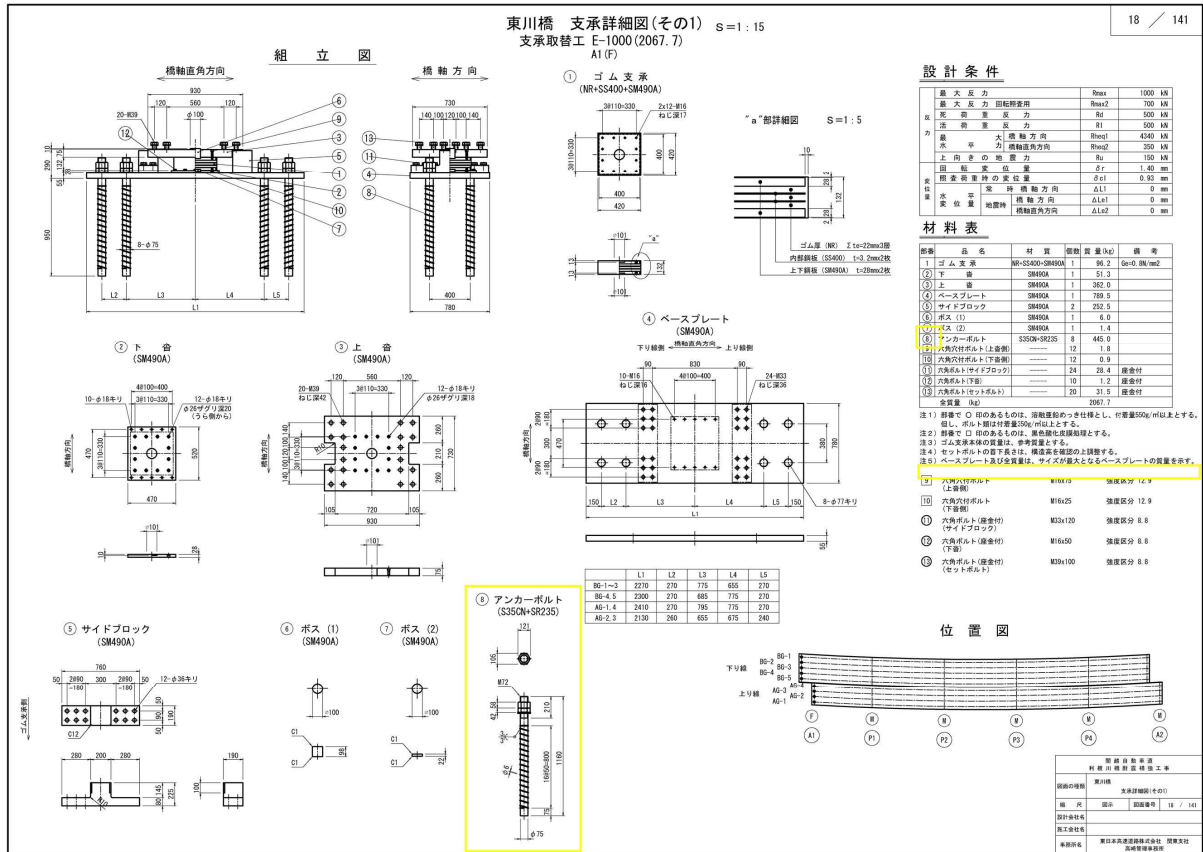


正

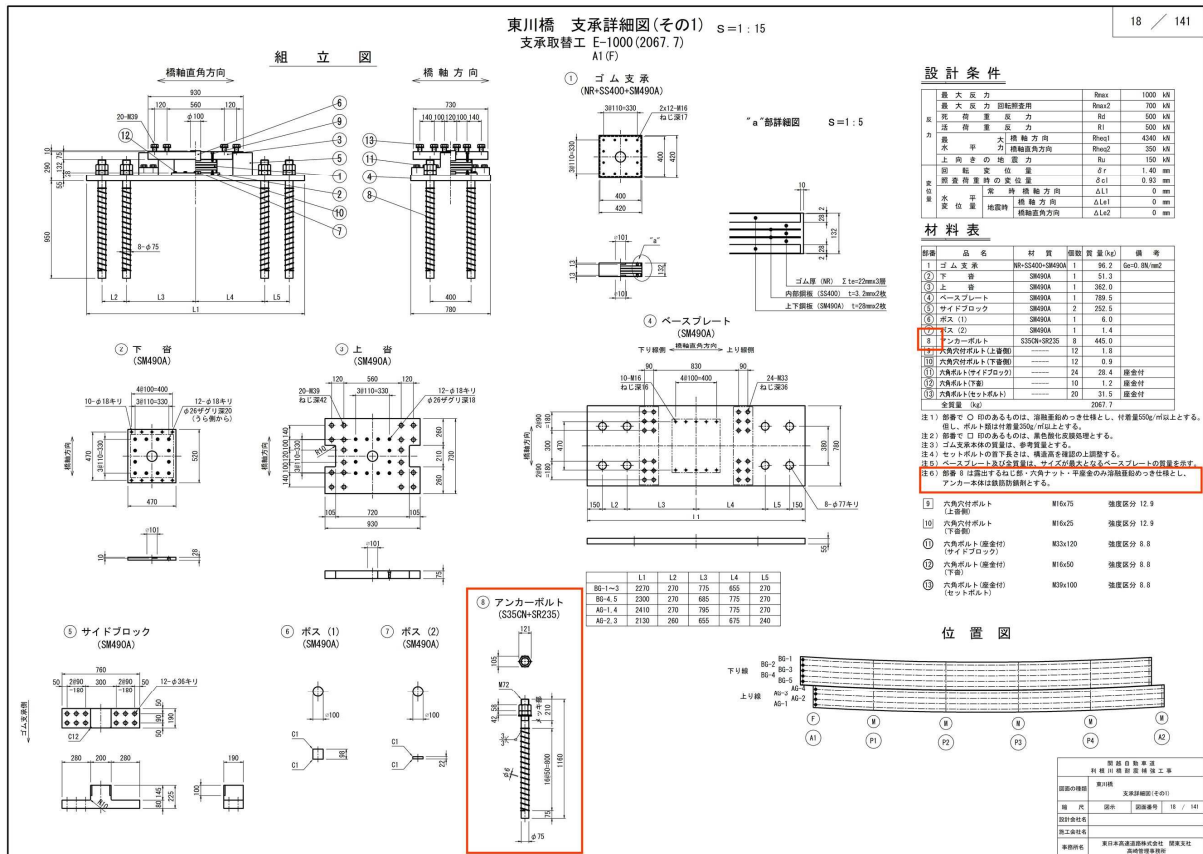


対象	設計図面 利根川橋 A2橋脚 検査路復旧図(その1) (80/87)
誤	<div data-bbox="199 197 1409 1048"> <div data-bbox="660 208 991 230">利根川橋 A2橋台 検査路復旧図(その1) S=1:75</div> <div data-bbox="748 230 852 253">設置工 検査路B1</div> <div data-bbox="748 253 852 275">設置工 検査路B2</div> <div data-bbox="1326 208 1390 230">80 / 87</div> <div data-bbox="215 275 1377 1037"> <div data-bbox="459 286 496 309">下り線</div> <div data-bbox="911 286 948 309">上り線</div> <div data-bbox="687 275 724 297">正面図</div> <div data-bbox="1265 275 1302 297">側面図</div> <div data-bbox="687 589 724 611">平面図</div> <div data-bbox="639 768 703 790">A-A S=1:30</div> <div data-bbox="879 768 959 790">"a"部詳細 S=1:30</div> <div data-bbox="363 880 400 902">配置図</div> <div data-bbox="215 902 544 1037"> <div data-bbox="215 902 252 925">下り線</div> <div data-bbox="215 925 252 947">上り線</div> <div data-bbox="252 902 544 1037"> <div data-bbox="252 902 284 925">P1</div> <div data-bbox="284 902 316 925">P2</div> <div data-bbox="316 902 347 925">P3</div> <div data-bbox="347 902 379 925">P4</div> <div data-bbox="379 902 411 925">P5</div> <div data-bbox="411 902 443 925">A2</div> </div> </div> <div data-bbox="1249 925 1393 1037"> <div data-bbox="1249 925 1393 947">検査路B1</div> <div data-bbox="1249 947 1393 969">検査路B2</div> <div data-bbox="1249 969 1393 992">利根川橋 A2橋台 検査路復旧図(その1)</div> <div data-bbox="1249 992 1393 1014">図 利 図 市 図 監 察 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1014 1393 1037">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1037 1393 1059">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1059 1393 1081">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1081 1393 1104">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1104 1393 1126">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1126 1393 1149">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1149 1393 1171">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1171 1393 1193">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1193 1393 1216">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1216 1393 1238">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1238 1393 1261">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1261 1393 1283">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1283 1393 1305">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1305 1393 1328">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1328 1393 1350">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1350 1393 1373">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1373 1393 1395">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1395 1393 1417">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1417 1393 1440">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1440 1393 1462">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1462 1393 1485">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1485 1393 1507">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1507 1393 1529">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1529 1393 1552">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1552 1393 1574">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1574 1393 1597">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1597 1393 1619">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1619 1393 1641">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1641 1393 1664">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1664 1393 1686">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1686 1393 1709">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1709 1393 1731">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1731 1393 1753">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1753 1393 1776">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1776 1393 1798">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1798 1393 1821">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1821 1393 1843">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1843 1393 1865">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1865 1393 1888">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1888 1393 1910">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1910 1393 1933">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1933 1393 1955">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1955 1393 1977">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1977 1393 2000">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2000 1393 2022">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2022 1393 2045">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2045 1393 2067">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2067 1393 2089">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2089 1393 2112">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2112 1393 2134">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2134 1393 2157">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2157 1393 2179">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2179 1393 2201">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2201 1393 2224">図 監 査 局 図 監 査 局</div> </div> </div> </div>
正	<div data-bbox="199 1142 1409 1993"> <div data-bbox="660 1153 991 1176">利根川橋 A2橋台 検査路復旧図(その1) S=1:75</div> <div data-bbox="748 1176 852 1198">設置工 検査路B1</div> <div data-bbox="748 1198 852 1220">設置工 検査路B2</div> <div data-bbox="1326 1153 1390 1176">80 / 87</div> <div data-bbox="215 1220 1377 1982"> <div data-bbox="459 1232 496 1254">下り線</div> <div data-bbox="911 1232 948 1254">上り線</div> <div data-bbox="687 1220 724 1243">正面図</div> <div data-bbox="1265 1220 1302 1243">側面図</div> <div data-bbox="687 1534 724 1556">平面図</div> <div data-bbox="639 1713 703 1736">A-A S=1:30</div> <div data-bbox="879 1713 959 1736">"a"部詳細 S=1:30</div> <div data-bbox="363 1825 400 1848">配置図</div> <div data-bbox="215 1848 544 1982"> <div data-bbox="215 1848 252 1870">下り線</div> <div data-bbox="215 1870 252 1892">上り線</div> <div data-bbox="252 1848 544 1982"> <div data-bbox="252 1848 284 1870">P1</div> <div data-bbox="284 1848 316 1870">P2</div> <div data-bbox="316 1848 347 1870">P3</div> <div data-bbox="347 1848 379 1870">P4</div> <div data-bbox="379 1848 411 1870">P5</div> <div data-bbox="411 1848 443 1870">A2</div> </div> </div> <div data-bbox="1249 1870 1393 1982"> <div data-bbox="1249 1870 1393 1892">検査路B1</div> <div data-bbox="1249 1892 1393 1915">検査路B2</div> <div data-bbox="1249 1915 1393 1937">利根川橋 A2橋台 検査路復旧図(その1)</div> <div data-bbox="1249 1937 1393 1960">図 利 図 市 図 監 察 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1960 1393 1982">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 1982 1393 2004">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2004 1393 2027">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2027 1393 2049">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2049 1393 2072">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2072 1393 2094">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2094 1393 2116">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2116 1393 2139">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2139 1393 2161">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2161 1393 2184">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2184 1393 2206">図 監 査 局 図 監 査 局</div> <div data-bbox="1249 2206 1393 2228">図 監 査 局 図 監 査 局</div> </div> </div> </div>
備考	図面表記の訂正

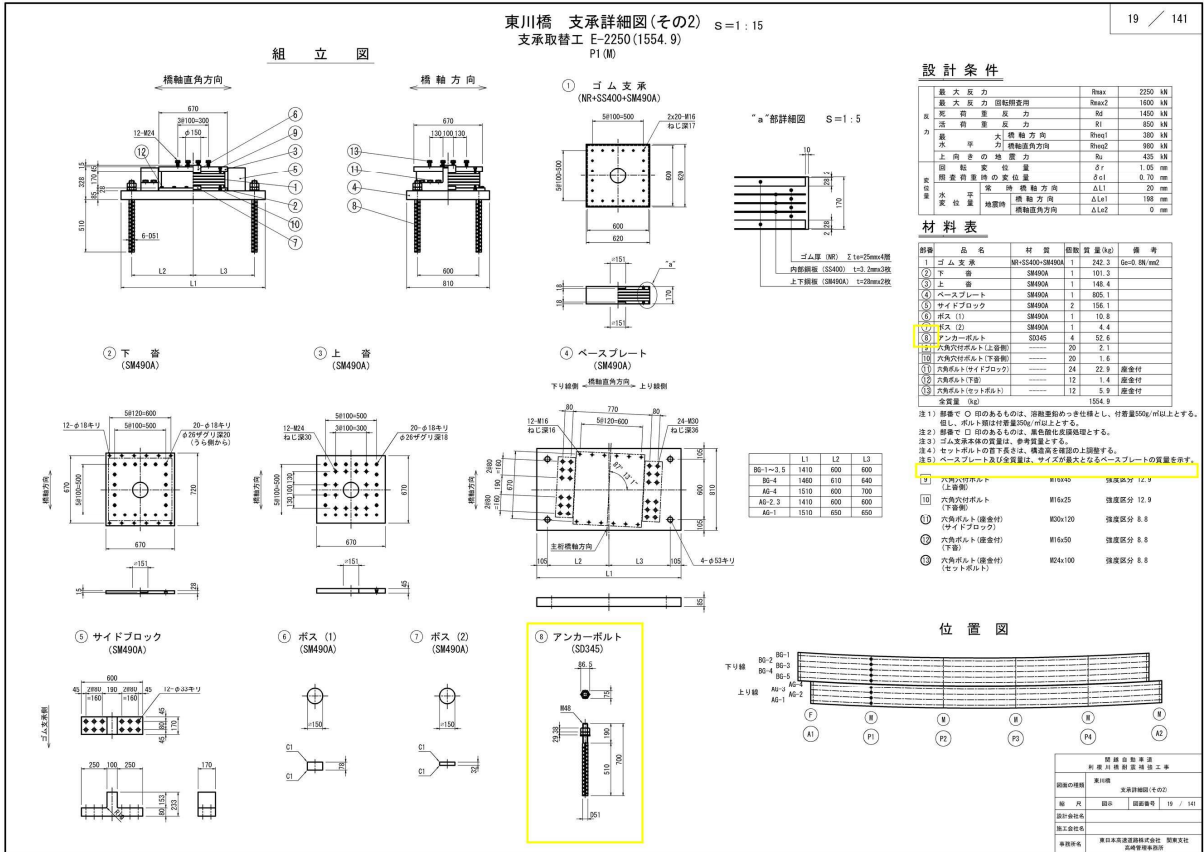
誤



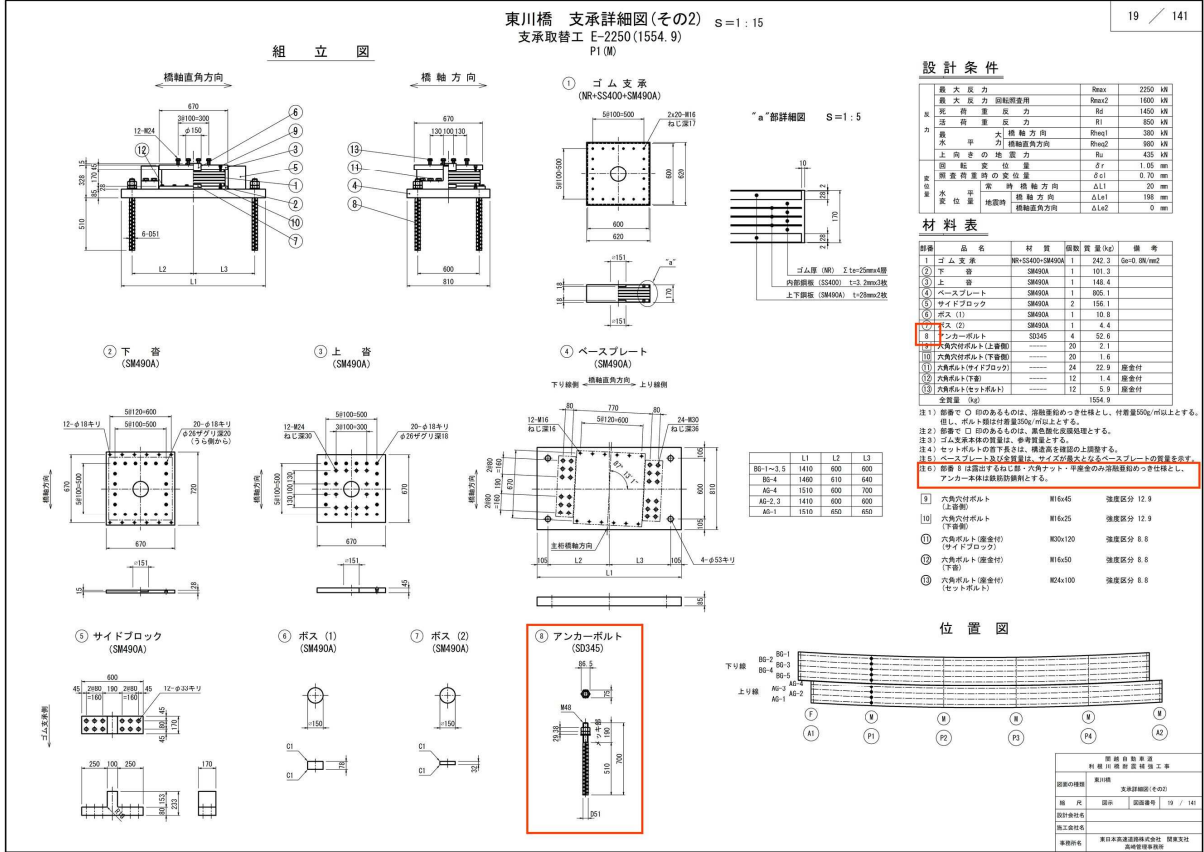
正



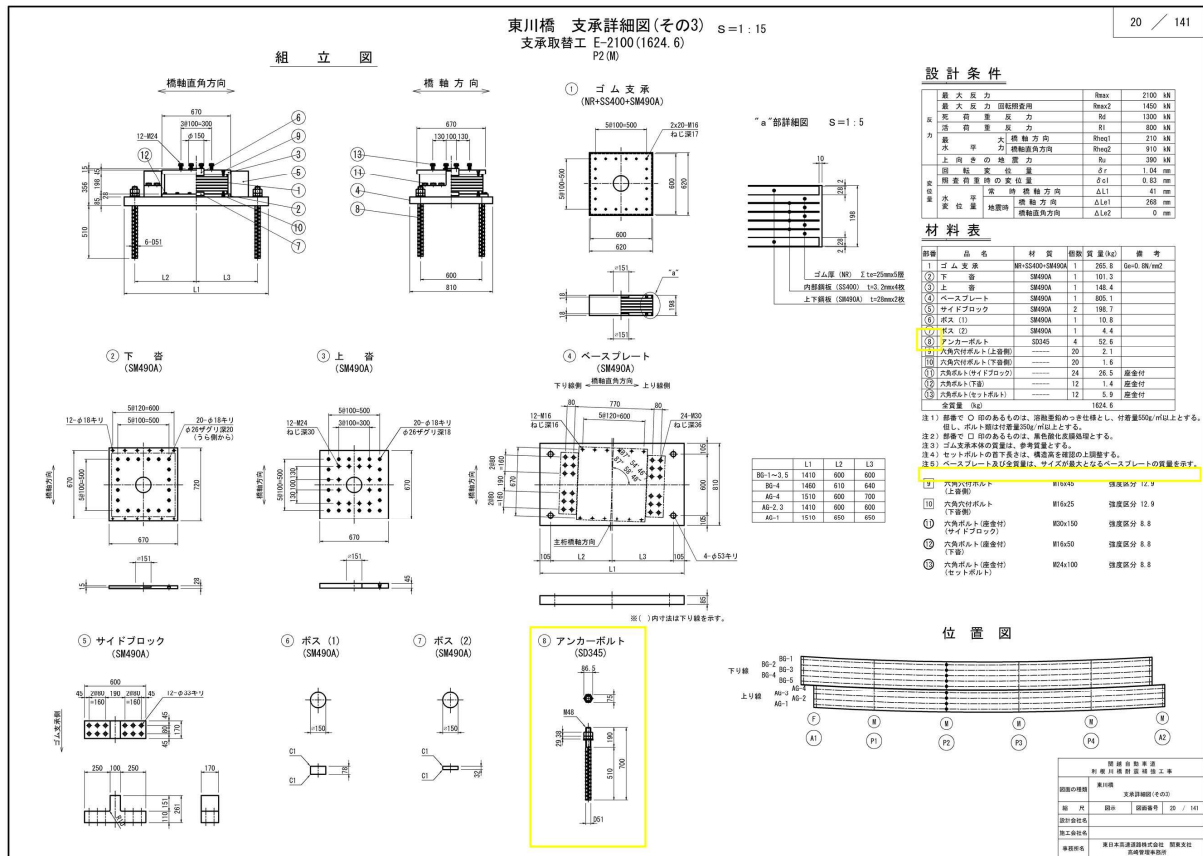
誤



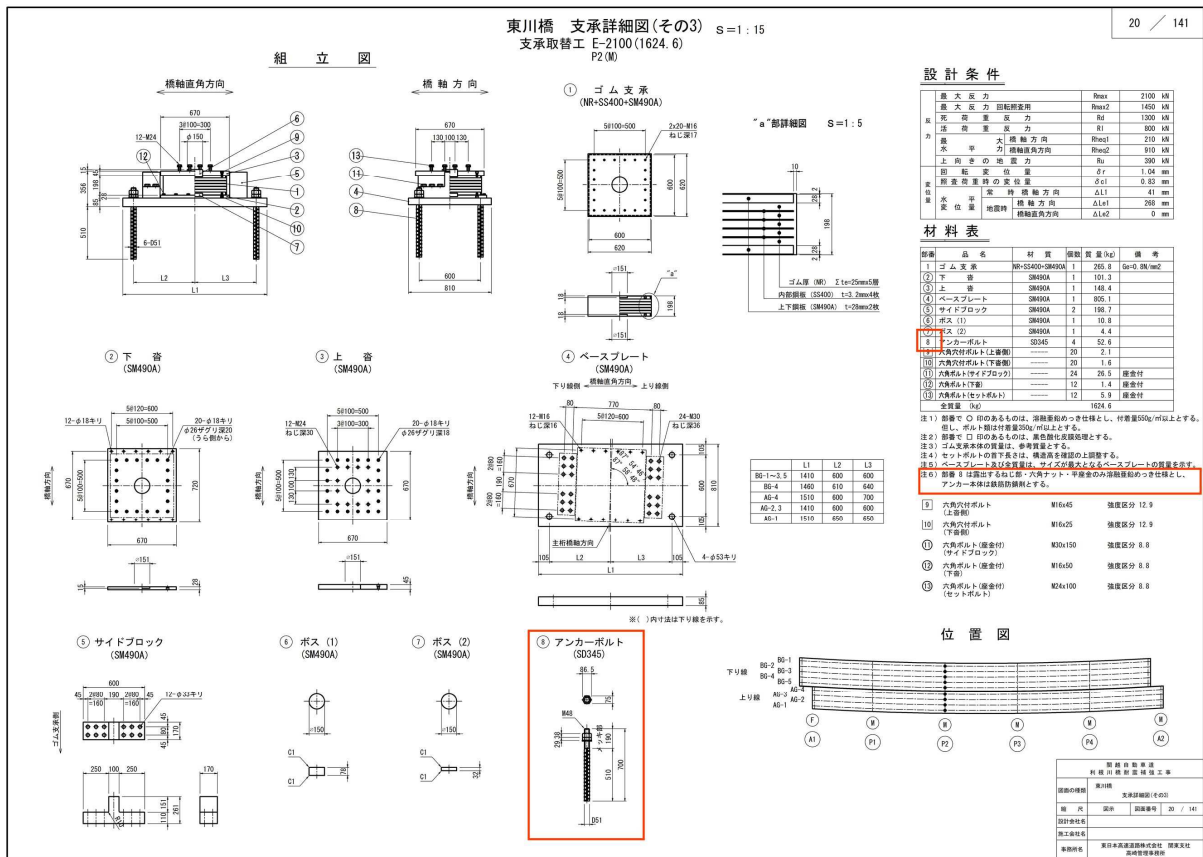
正



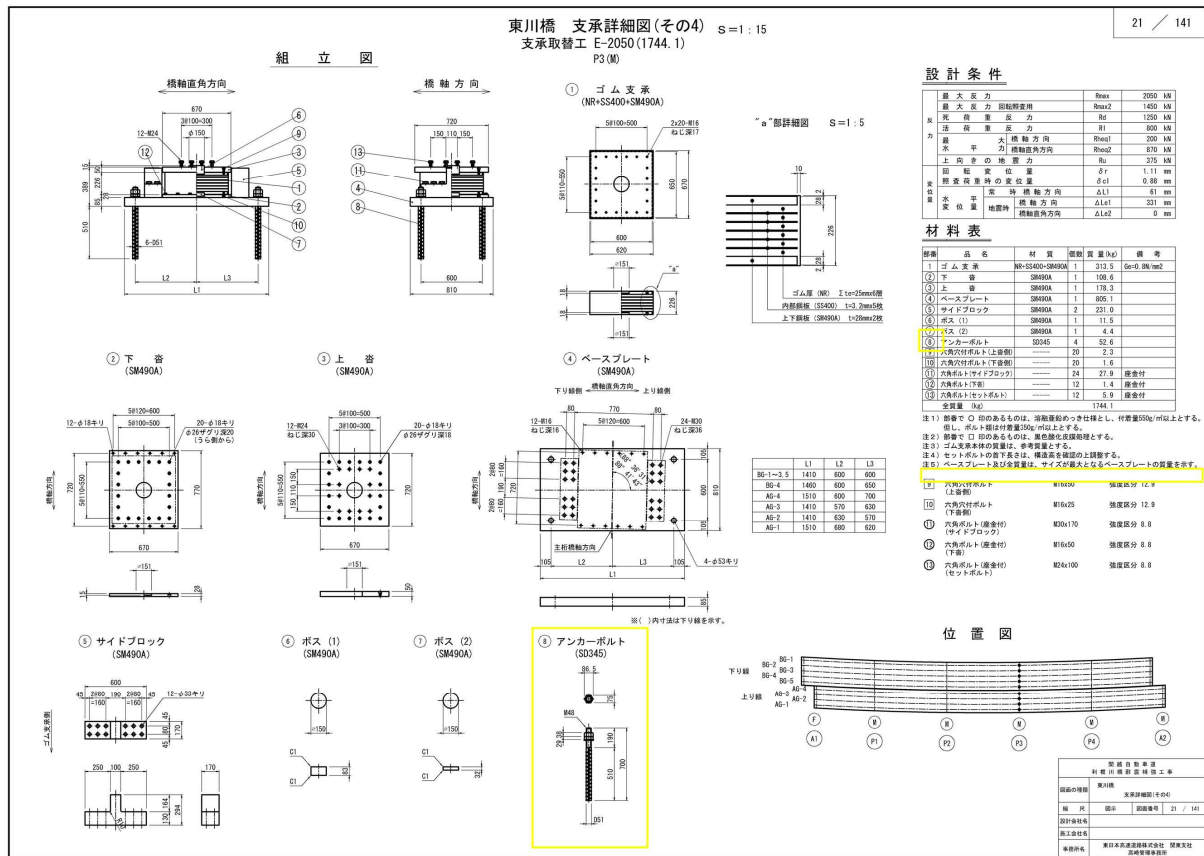
誤



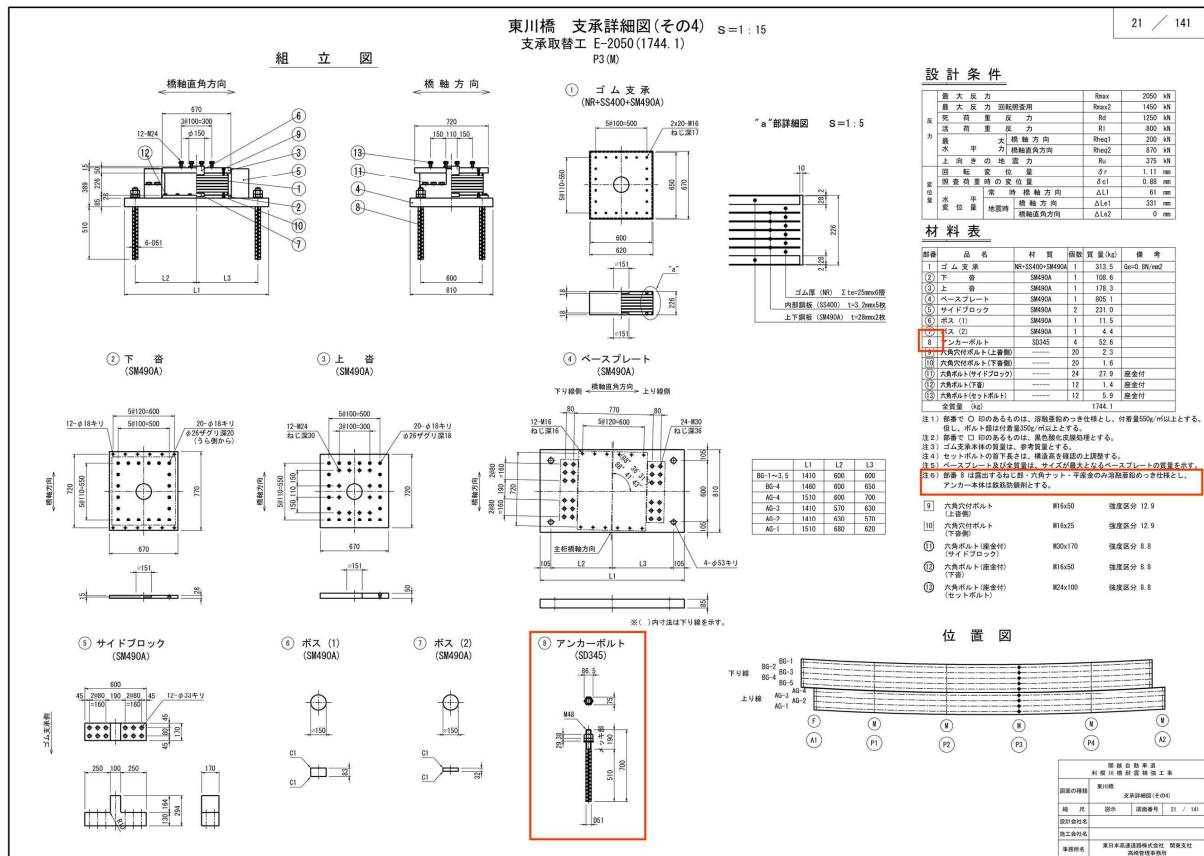
正



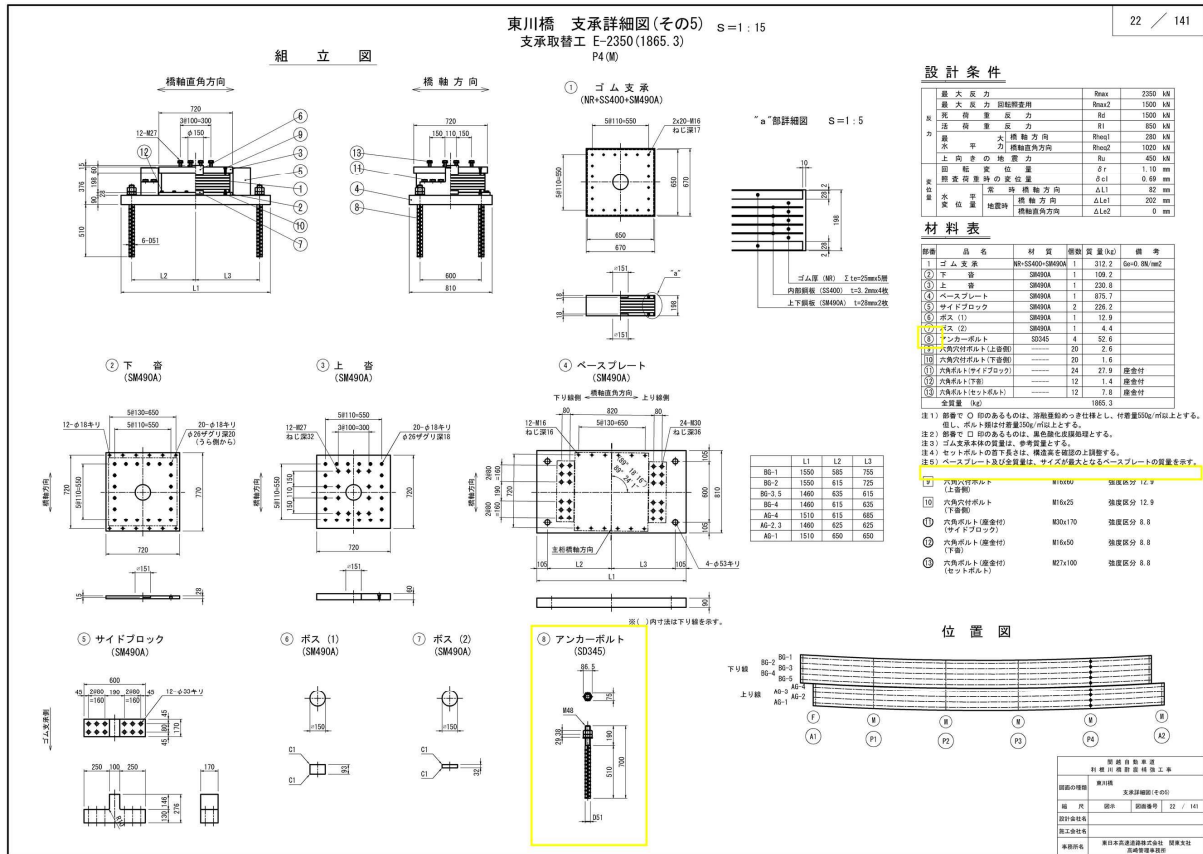
誤



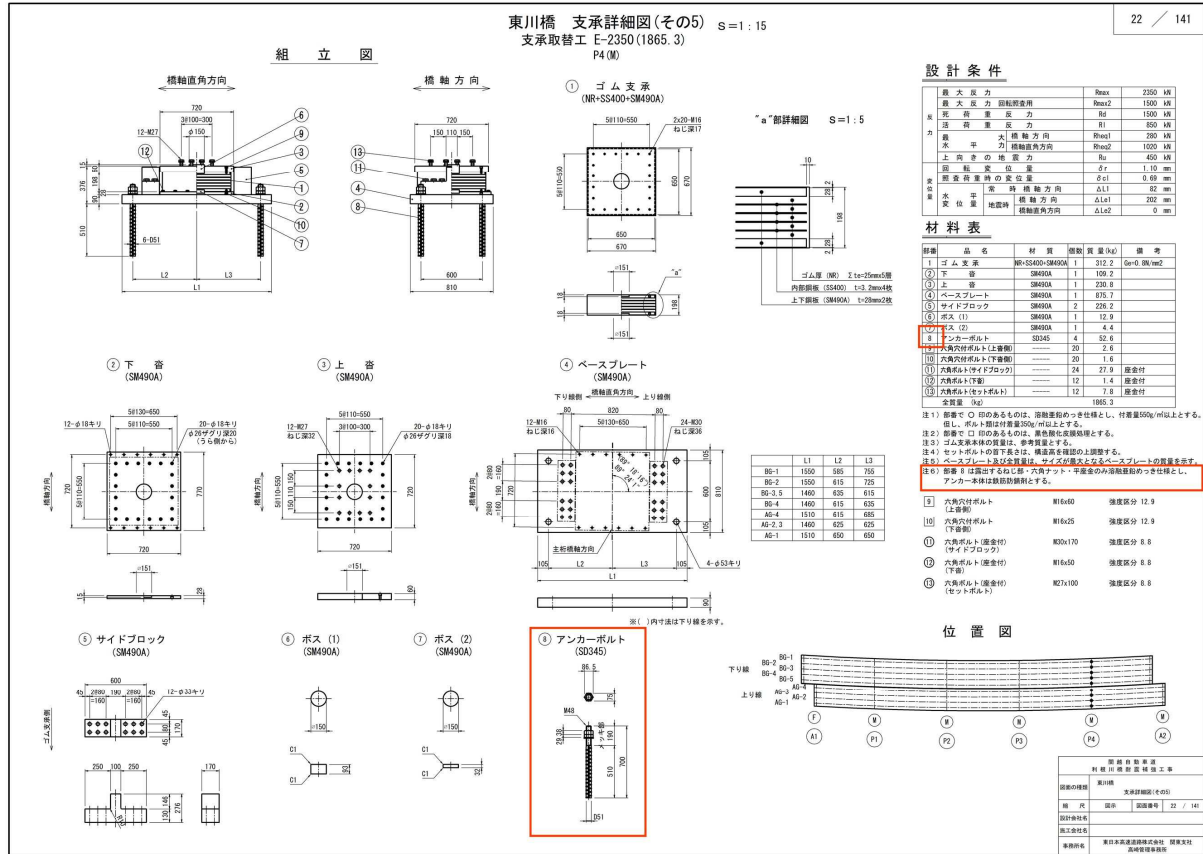
正



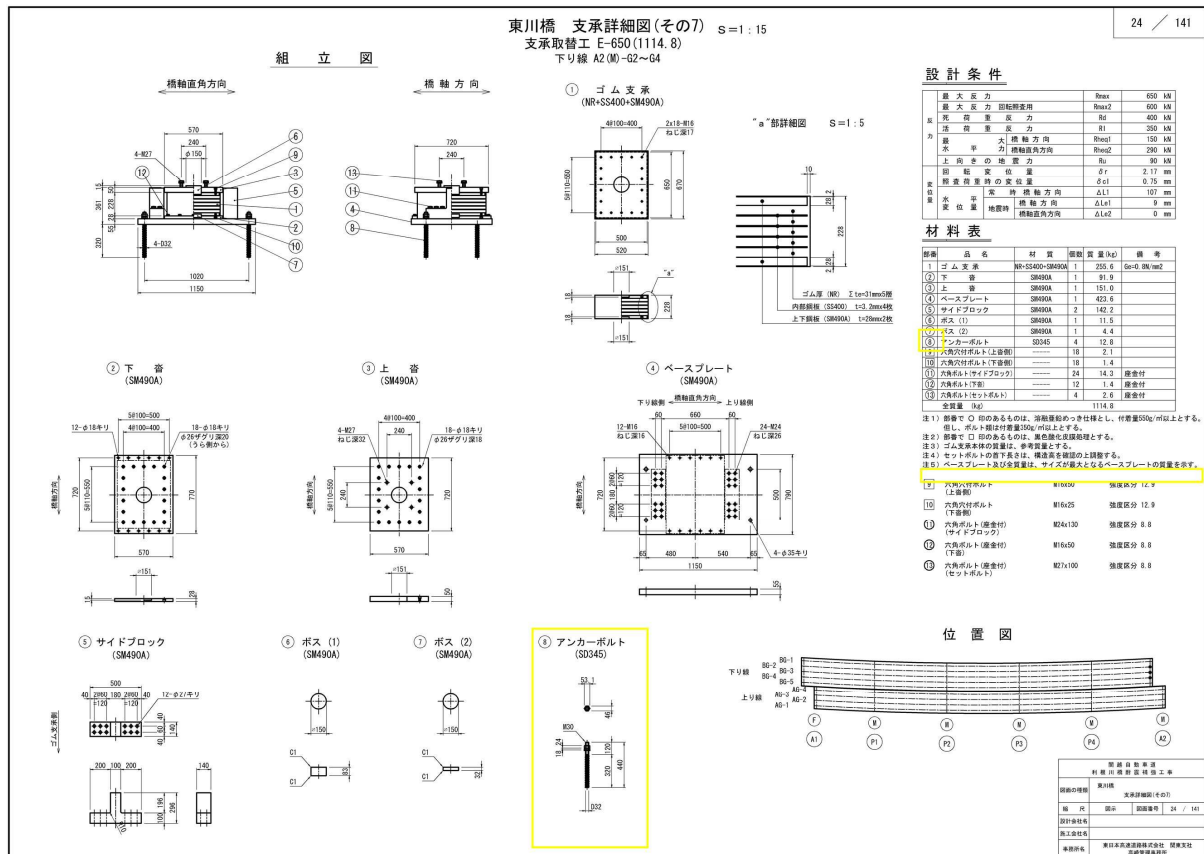
誤



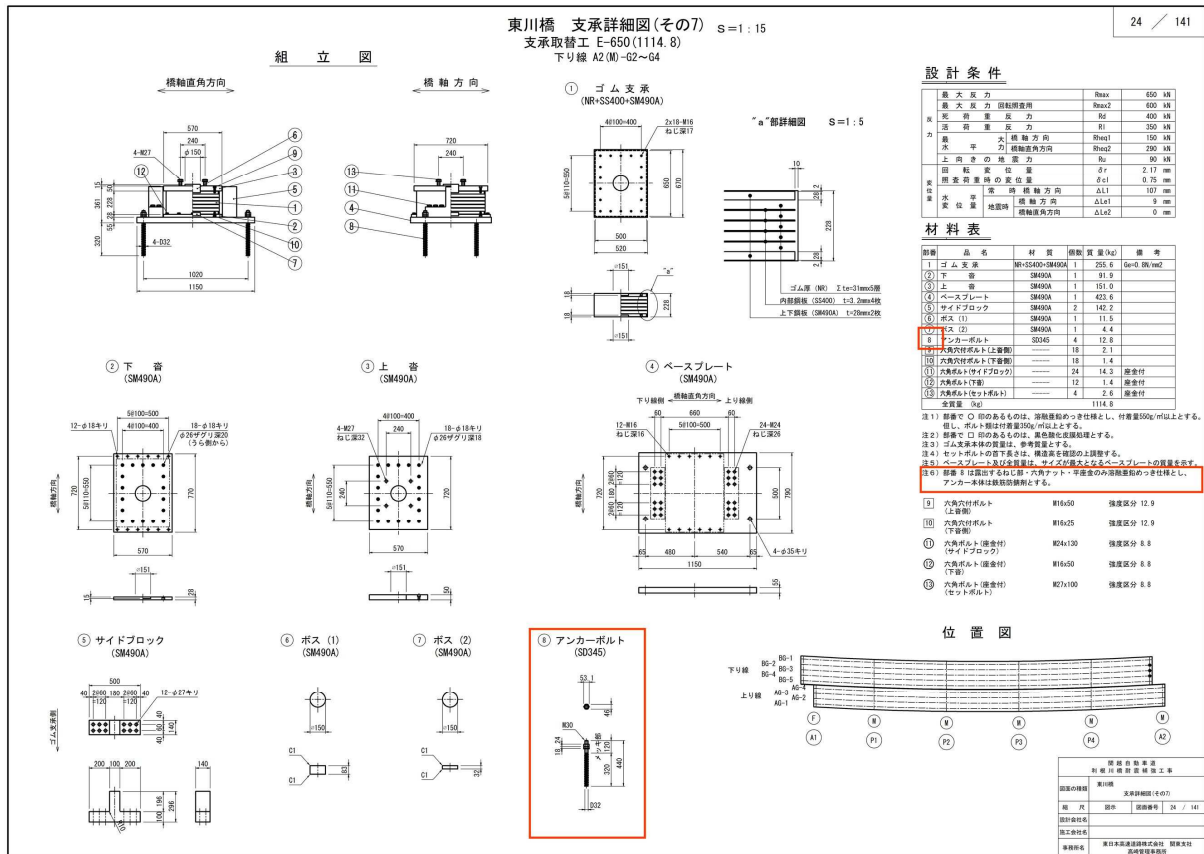
正

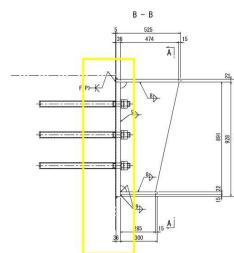
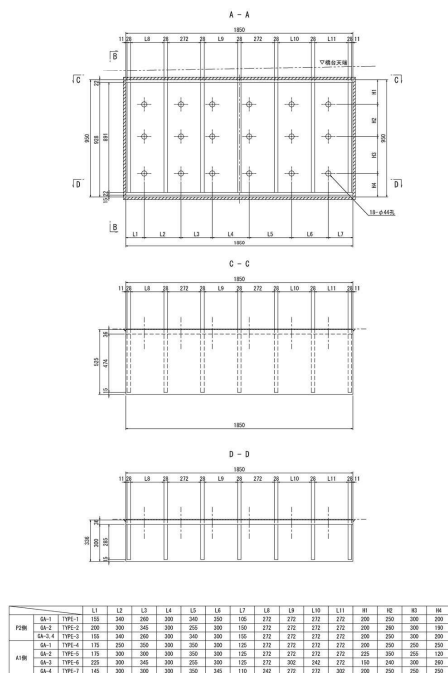


誤



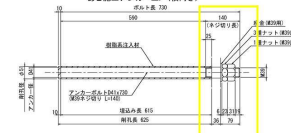
正





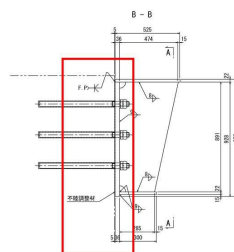
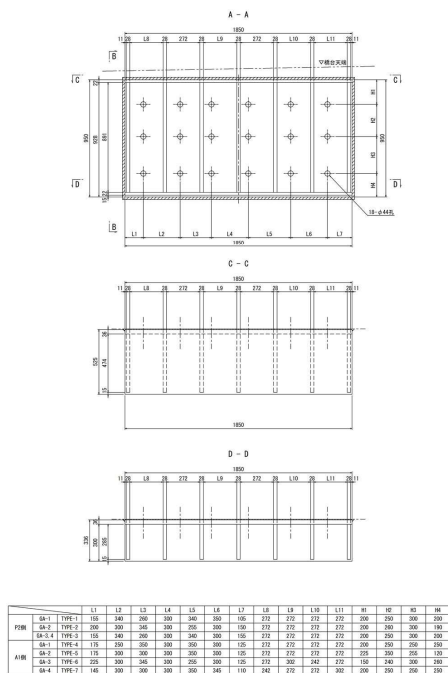
- 1箇所当り(製作数:8箇所)
- ★ 1-EAS FL 926c36 1850 (54400)
 - ★ 1-FLC FL 525c22 1850
 - ★ 1-FLC FL 300c22 1850
 - ★ 7-RB FL 434c26 891
- 18-アンカーボルト D41x720 (52345)
- ★ 18-807 R39 (第1層) (55400)
 - ★ 18-807 R39 (第2層) (55400)
 - ★ 18-808 R39 (第3層) (55400)

アンカーボルト詳細図 S=1:12.5
あと施工アンカーEF (横向き)



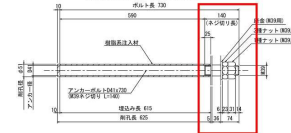
- 注記)
- 1) 特記な木材質は、全てSBR60Aとする。
 - 2) 特記なスクリューは全てR50とする。
 - 3) 特記な主鋼材は、全て海腐耐食鋼材とする。
量給の付番番号は、JIS S4901 H4305とする。
組立時、縦弾性2mm/mと6mm/mの鋼材は、1枚10円とし、
ボルト・ナット及び母線3.2mmの鋼材は、
縦弾性2mm/m、6mmの鋼材は、10円半とする。
 - 4) 釘等は、使用仕様書とあるため、表面処理は
無処理とする。
 - 5) アンカー・ボルトは、金具に置き、海腐耐食のきつ
きとよとする。
 - 6) 工費等はアンカー・ボルト組立金具等、経験実測
結果のうえ行うものとする。
 - 7) アンカー・ボルトは、経験実測アンカーとする。
 - 8) F、Pの 両者のある箇所は、両方入れ込み海腐を要する。

関西自動車道 料蔵田橋新設強化工事			
図面の種類	意匠図(上り橋) 詳細図 支保脚壁 詳細図(その他)		
縮 尺	縮示	図面番号	35 / 141
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関西支社 高城町保良西町		



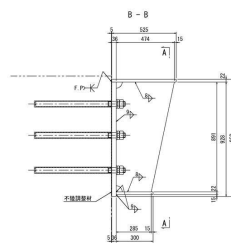
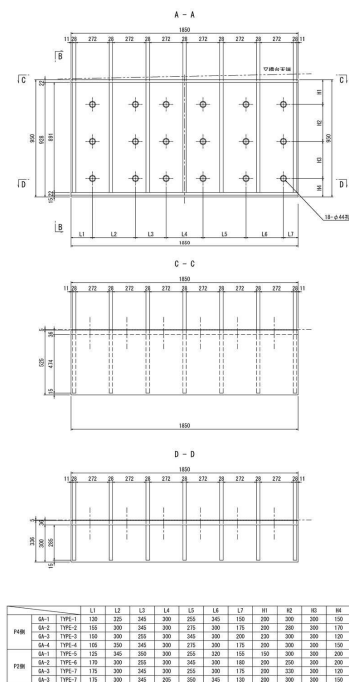
- 1型用端子(製作数:8箇所)
- 1-18mm FL 928x36x1850 (SM008)
 - 1-1FL0 FL 525x22x1850
 - 1-1FL0 FL 300x22x1850
 - 7-18mm FL 474x28x 891
- 18-アンカーボルト 041x330 (20345)
- ★ 18-8mm M9 (第1種) (SS400)
 - ★ 18-8mm M9 (第3種) (SS400)
 - ★ 18-18mm M9 (第3種) (SS400)

アンカーボルト詳細図 S=1:12.5
あと施工アンカーEF（横向き）



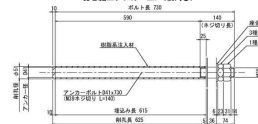
- 注記
- 1) 特記な素材は、全て0000とする。
 - 2) 特記な重量スカラーは0とする。
 - 3) 特記な個体は、全て00000000とする。
重量的付置量は、JIS 00001 0000とする。
但し、特記2.0mm以上6.0mm未満の個体は、0001とし、
ポルトナットおよび3mm未満の個体は、
0002とする。＊印は0は、0001を表すとする。
＊付置物は、使用用途場となるため、表裏の型は
異なる。
 - 4) アンカー-ポルトは、ネジ切込みのみで固定される
こととする。
 - 5) 工場製品はアンカー-ポルトと別な位置で、従来製品
確認のうえ行うものとする。
 - 6) アンカー-ポルトは従来品と同一とする。
 - 7) F、Pの表示のある場合は、完全固定（埋込）品を用いる。

関越自動車道 利根川橋新架強化工事			
国道路種別	東1号(上野池) P1橋脚 支保取替工 詳細図(その他)		
幅 尺	図示	図面番号	25 / 141
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 高橋管理課新幹		



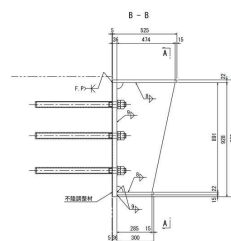
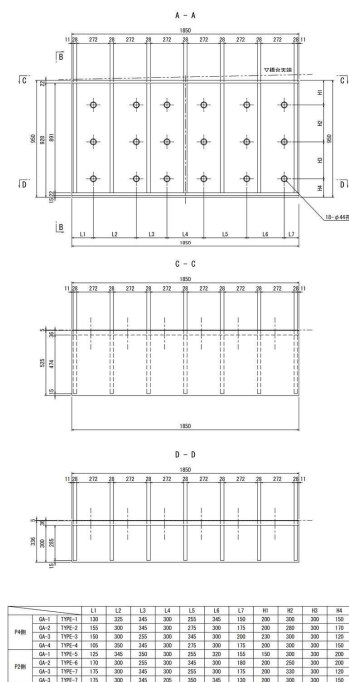
- 1 型番号 (製作数: 400 台)
- 1-BEJ FL 926x36x1850 (SS4000)
 - 1-LFL FL 525x22x1850
 - 1-LFL FL 300x22x1850
 - 1-RJL FL 474x26x 891
- 1E-アンカーボルト D41x730 (SSC45)
- ★ 1E-RT K29 (第1型) (SS400)
 - ★ 1E-RT K29 (第2型) (SS400)
 - ★ 1E-RT K29 K290 (SS400)

アンカーボルト詳細図 S=1:12.5
あと施工アンカー工F (横向き)



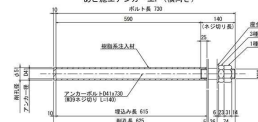
- 注記)
- 1) 特殊な材質は、全てPVCと仮定する。
 - 2) 特殊なスカーフトップは25%とする。
 - 3) 価格は、全て消費税別と仮定する。
 - 4) 価格の付加税は、JIS 規格の鋼材とし、
亜鉛、板厚2.0mmと6.0mmの鋼材は、100%とし、
ポルト ナットおよび厚さ2.0mm未満の鋼材は、
82%とする。木印刷材は、メッシュを要とする。
 - 5) 木材価格は、使用後廃棄となるため、表面処理は
無塗装とする。
 - 6) アンカー・ボルトは、全量に課税、油断最悪のつき
上げとする。
 - 7) 工機価格はアンカー・ボルト組立作業費、鉄束戻し
運送のうえ行われるものとする。
 - 8) アンカー・ボルトは標準アンカーとする。
 - 9) 「f」の表示のある場合は、完全設計込み価格を用いる。

新橋自動車道 利根川橋脚整備工事	
図面の種類	夏川橋(上号橋) P2橋脚 支那管工 詳細図(その他)
図 氏	図示 図面番号 49 / 141
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東京日本高速道路株式会社 関東支社 高橋東洋橋設計部



- 7箇所部号(製作数:8箇所)
- ★ 1-BASE PL 528x36x1850 (3M400)
 - ★ 1-LFLG PL 525x22x1850
 - ★ 1-LFLG PL 300x22x1850
 - ★ 7-RI8 PL 434x28x 891
- 18-アンカーボルト D41x730 (300)
- ★ 18-RI10 R39 (第1種) (35400)
- ★ 18-RI10 R39 (第2種) (35400)

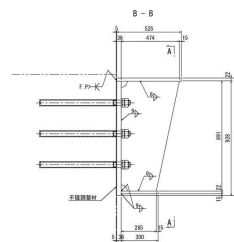
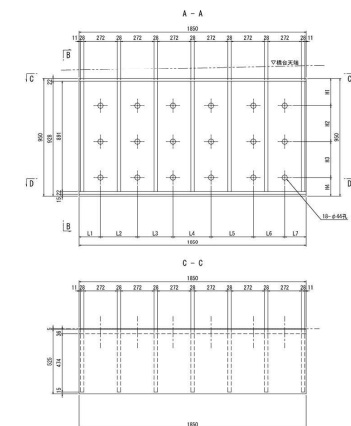
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5
あと施工アンカー工F（横向き）



- 注記)
- 特記なき材質は、全てJIS5043とする。
 - 特記なきスクラップはJIS5025とする。
 - 鋼材は、全てJIS5043とJIS5025とする。
要約の材質は、JIS 50541とJIS5025とする。
但し、厚板20mm以上60mm未満の鋼材は、JIS5015とし、
ボルト・ナットおよび棒状20mm未満の鋼材は、
JIS5025とする。その他部材は、メッキ不問とする。
 - 全鋼材は、使用済鋼材となるため、重量減損は
無効とする。
- ④ 鋼材の重量は、平均密度は7850kg/m³と仮定し
仕上げる。
- ⑤ 重量計算はアンカー・ボルト・制気圧装置、現場実測
確認のうえ行うものとする。
- ⑥ アンカー・ボルトは重量系アンカーとする。
- ⑦ ①より⑥の範囲の品質保証書、実測データは重量系と異なる

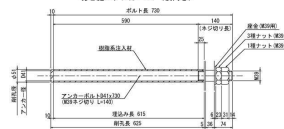
	関越自動車道 利根川橋梁補強工事		
国庫の種類	東川橋(上号取) P3補強 支架取替工 詳細図(その他)		
縮 尺	図示	図面番号	49 / 141
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		

<div>対象</div> <div>誤</div>	<div>設計図面 東川橋（上り線）P4橋脚 支承取替工 詳細図(その4) (56/141)</div> <div> <div> <div>東川橋(上り線) P4橋脚 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25</div> <div> <div>支承取替工 E-2350 (1865.3)</div> <div>ジャッキアップブラケット</div> </div> </div> <div> <div> <div>A-A</div> </div> <div> <div>B-B</div> </div> <div> <div>C-C</div> </div> <div> <div>D-D</div> </div> </div> <div> <div> <div>1 標準仕切り (標準版 8型版)</div> <div> <div>● 1-規格 PL 325(25x150) (S400E)</div> <div>● 1-規格 PL 325(25x180)</div> <div>● 1-規格 PL 325(25x180)</div> <div>● 1-規格 PL 474(25x 81)</div> <div>● 1-規格 PL 474(25x100)</div> </div> </div> <div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> </div> </div> <div> <div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div> <div> <div>あと施工アンカー工 (横向き)</div> </div> </div> <div> <div>注記</div> <div> <div>1) 特設な材料等は、全て図面Aとする。</div> <div>2) 特設な材料等は、全て図面Aとする。</div> <div>3) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>4) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>5) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>6) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>7) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>8) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>9) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>10) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> </div> </div> <div> <div> <div>56 / 141</div> <div> <div>東川橋(上り線) P4橋脚 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25</div> <div> <div>支承取替工 E-2350 (1865.3)</div> <div>ジャッキアップブラケット</div> </div> </div> <div> <div> <div>A-A</div> </div> <div> <div>B-B</div> </div> <div> <div>C-C</div> </div> <div> <div>D-D</div> </div> </div> <div> <div> <div>1 標準仕切り (標準版 8型版)</div> <div> <div>● 1-規格 PL 325(25x150) (S400E)</div> <div>● 1-規格 PL 325(25x180)</div> <div>● 1-規格 PL 325(25x180)</div> <div>● 1-規格 PL 474(25x 81)</div> <div>● 1-規格 PL 474(25x100)</div> </div> </div> <div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> </div> </div> <div> <div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div> <div> <div>あと施工アンカー工 (横向き)</div> </div> </div> <div> <div>注記</div> <div> <div>1) 特設な材料等は、全て図面Aとする。</div> <div>2) 特設な材料等は、全て図面Aとする。</div> <div>3) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>4) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>5) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>6) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>7) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>8) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>9) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>10) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> </div> </div> <div> <div> <div>56 / 141</div> <div> <div>東川橋(上り線) P4橋脚 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25</div> <div> <div>支承取替工 E-2350 (1865.3)</div> <div>ジャッキアップブラケット</div> </div> </div> <div> <div> <div>A-A</div> </div> <div> <div>B-B</div> </div> <div> <div>C-C</div> </div> <div> <div>D-D</div> </div> </div> <div> <div> <div>1 標準仕切り (標準版 8型版)</div> <div> <div>● 1-規格 PL 325(25x150) (S400E)</div> <div>● 1-規格 PL 325(25x180)</div> <div>● 1-規格 PL 325(25x180)</div> <div>● 1-規格 PL 474(25x 81)</div> <div>● 1-規格 PL 474(25x100)</div> </div> </div> <div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> <div>● 1-規格 鋼材 (標準) (S400)</div> </div> </div> <div> <div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div> <div> <div>あと施工アンカー工 (横向き)</div> </div> </div> <div> <div>注記</div> <div> <div>1) 特設な材料等は、全て図面Aとする。</div> <div>2) 特設な材料等は、全て図面Aとする。</div> <div>3) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>4) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>5) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>6) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>7) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>8) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>9) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> <div>10) 鋼材は、全て図面Aとする。</div> </div> </div> </div> </div></div></div></div>
<div>正</div>	<div>備考</div> <div>注記の訂正</div>



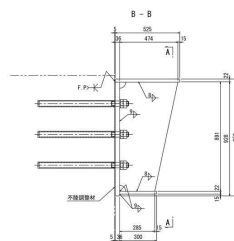
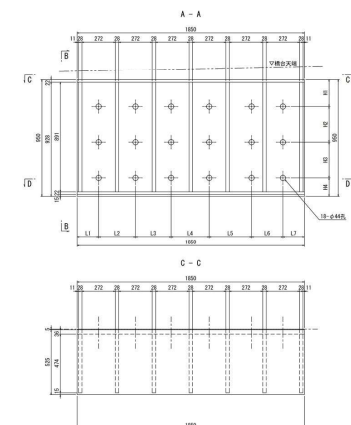
- 1 型番と号 (製作数: 10 型番)
- ★ 1-08SE FL 928x36x1850 (584000)
 - ★ 1-0FLG FL 925x22x1850
 - ★ 1-LFLG FL 906x22x1850
 - ★ 1-RIB FL 474x28x 891
- 1E-アンカーボルト D41x730 (5045)
- ★ 1E-08T 808 (18180)
- ★ 1E-08T 808 (18180)

アンカーボルト詳細図 S=1:12.5
あと施工アンカー工F (横向き)



- は記)
- 1) 特別な素材材は、全てPBR04とする。
 - 2) 特別なスカーフトップはPBR05とする。
 - 3) 鋼材は、全て海産物鋼メッキとする。
鋼材の厚みは、H1 鋼材は 10mmとする。
但し、橋脚 2mmより6mm厚さの鋼材は、45%とし、
ポルト・アットおよび橋脚 2.5mm厚さの鋼材は、
60%とする。★鋼材は、メッキ不要とする。
 - 4) y型鋼材は、使用済鋼材となるため、表面処理は
不要とする。
 - 5) 鋼材の厚みは、全長に渡り、海産物鋼のつき
き上げとする。
 - 6) 工機部はアルミニウムに鋼材使用等、特殊鋼材
使用のうえ行うものとする。
 - 7) アルミニウムは橋脚高アンカーとする。
 - 8) 圧力、内張りの鋼材は、鋼材より45%減額とする。

新 潟 自 治 体 道 料 機 (内 機 動 車 特 種 工 事)			
図面の種類	意匠図(下り型) P1透視 支那型壁工 詳細図(その他)		
縮 尺	図示	図面番号	83 / 141
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東京本高速道路株式会社 関東支社 支店(新潟県)		



- 1部用ナリ(製作数:10部用)
- ☆ 1-BASE PL 926x36x1650 (S84008)
 - ☆ 1-FLG PL 525x22x1650
 - ☆ 1-FLG PL 300x22x1650
 - ☆ 7-rib PL 474x28x 651
- 10-アンカーボルト D41x720(SD046)
- ★ 10-NUT M39 (第1種) (SS400)
 - ★ 10-NUT M39 (第3種) (SS400)
 - ★ 10-WASHER M39用 (SS400)

アンカーボルト詳細図 S=1:12.5
あと施工アンカー工F (横向き)



- ③ アンサーは「市」です。本試験で「市」の語が頻りに使われるので、しっかりと覚えておきましょう。

関東自動車道 利根川橋梁強化工事			
図面の種類	東10橋(下号線) P2橋脚 支米取替工 詳細図(その他)		
橋 尺	図示	図面番号	33 / 141
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		

対象 設計図面 東川橋（下り線）P4橋脚 支承取替工 詳細図(その4) (97/141)

誤

東川橋(下り線) P4橋脚 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25
支承取替工 E-2350 (1865.3)
ジャッキアップブラケット

A - A

18-4材料

B - B

18-4材料

C - C

18-4材料

D - D

18-4材料

アンカーボルト詳細図

あと施工アンカー工 (横向き)

S=1:12.5

1 設計条件 (設計者 18設計)

● トラス R 353x34x1830 (38400E)

● 1-4FL R 325x22x1830

● 1-5FL R 305x22x1830

● 2-4FL R 474x26x 891

● 2-5FL R 474x26x 891

● 18-40T 鋼材 (標準) (S5460)

● 18-40T 鋼材 (標準) (S5460)

● 18-40T 鋼材 (標準) (S5460)

2 特設な材料等は、全て調製とする。

3 特設な材料等は、全て調製とする。

4 鋼材は、全て圧縮型メッキとする。

5 鋼材の寸法は、JIS 5503に規定とする。

6 鋼材の寸法は、JIS 5503に規定とする。

7 アンカーボルトは、圧入型アンカーとする。

8 圧入型アンカーは、圧入型アンカーとする。

97 / 141

正

東川橋(下り線) P4橋脚 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25
支承取替工 E-2350 (1865.3)
ジャッキアップブラケット

A - A

18-4材料

B - B

18-4材料

C - C

18-4材料

D - D

18-4材料

アンカーボルト詳細図

あと施工アンカー工 (横向き)

S=1:12.5

1 設計条件 (設計者 18設計)

● トラス R 353x34x1830 (38400E)

● 1-4FL R 325x22x1830

● 1-5FL R 305x22x1830

● 2-4FL R 474x26x 891

● 2-5FL R 474x26x 891

● 18-40T 鋼材 (標準) (S5460)

● 18-40T 鋼材 (標準) (S5460)

● 18-40T 鋼材 (標準) (S5460)

2 特設な材料等は、全て調製とする。

3 特設な材料等は、全て調製とする。

4 鋼材は、全て圧縮型メッキとする。

5 鋼材の寸法は、JIS 5503に規定とする。

6 鋼材の寸法は、JIS 5503に規定とする。

7 アンカーボルトは、圧入型アンカーとする。

8 圧入型アンカーは、圧入型アンカーとする。

97 / 141

備考 注記の訂正

対象
誤

設計図面 東川橋（下り線）A2橋脚 支承取替工 詳細図(その4) (104/141)

東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25
段差防止装置M7
鋼製プレート

104 / 141

Figure A-A: Plan view of the steel plate reinforcement. It shows a rectangular area with dimensions 1800 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

Figure B-B: Section view of the steel plate reinforcement. It shows the cross-section of the plate with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

Figure C-C: Plan view of the steel plate reinforcement. It shows a rectangular area with dimensions 1800 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

Figure D-D: Section view of the steel plate reinforcement. It shows the cross-section of the plate with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	R1	R2	R3	R4
1000-1	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-2	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-3	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-4	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-5	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750

1. 鋼製プレート (500mm厚)
2. 鋼製プレート (500mm厚)
3. 鋼製プレート (500mm厚)
4. 鋼製プレート (500mm厚)
5. 鋼製プレート (500mm厚)
6. 鋼製プレート (500mm厚)
7. 鋼製プレート (500mm厚)
8. 鋼製プレート (500mm厚)
9. 鋼製プレート (500mm厚)
10. 鋼製プレート (500mm厚)

Figure: Detail view of the steel plate reinforcement. It shows a cross-section of the plate with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

アンカーボルト詳細図
あと施工アンカー工 (横向き) S=1:12.5

Figure: Detail view of the anchor bolt and post-construction anchor work (horizontal direction). It shows a cross-section of the anchor bolt with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The anchor bolt is labeled 'アンカーボルト' (Anchor Bolt). The dimensions are given in millimeters (mm).

1. 鋼製プレート (500mm厚)
2. 鋼製プレート (500mm厚)
3. 鋼製プレート (500mm厚)
4. 鋼製プレート (500mm厚)
5. 鋼製プレート (500mm厚)
6. 鋼製プレート (500mm厚)
7. 鋼製プレート (500mm厚)
8. 鋼製プレート (500mm厚)
9. 鋼製プレート (500mm厚)
10. 鋼製プレート (500mm厚)

図面	図面番号	図面名
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)

正

東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25
段差防止装置M7
鋼製プレート

104 / 141

Figure A-A: Plan view of the steel plate reinforcement. It shows a rectangular area with dimensions 1800 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

Figure B-B: Section view of the steel plate reinforcement. It shows the cross-section of the plate with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

Figure C-C: Plan view of the steel plate reinforcement. It shows a rectangular area with dimensions 1800 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

Figure D-D: Section view of the steel plate reinforcement. It shows the cross-section of the plate with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	R1	R2	R3	R4
1000-1	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-2	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-3	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-4	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1000-5	175	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750

1. 鋼製プレート (500mm厚)
2. 鋼製プレート (500mm厚)
3. 鋼製プレート (500mm厚)
4. 鋼製プレート (500mm厚)
5. 鋼製プレート (500mm厚)
6. 鋼製プレート (500mm厚)
7. 鋼製プレート (500mm厚)
8. 鋼製プレート (500mm厚)
9. 鋼製プレート (500mm厚)
10. 鋼製プレート (500mm厚)

Figure: Detail view of the steel plate reinforcement. It shows a cross-section of the plate with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The reinforcement is arranged in a grid pattern. The plate is labeled '鋼製プレート' (Steel Plate). The dimensions are given in millimeters (mm).

アンカーボルト詳細図
あと施工アンカー工 (横向き) S=1:12.5

Figure: Detail view of the anchor bolt and post-construction anchor work (horizontal direction). It shows a cross-section of the anchor bolt with dimensions 1000 (width) and 1000 (length). The anchor bolt is labeled 'アンカーボルト' (Anchor Bolt). The dimensions are given in millimeters (mm).

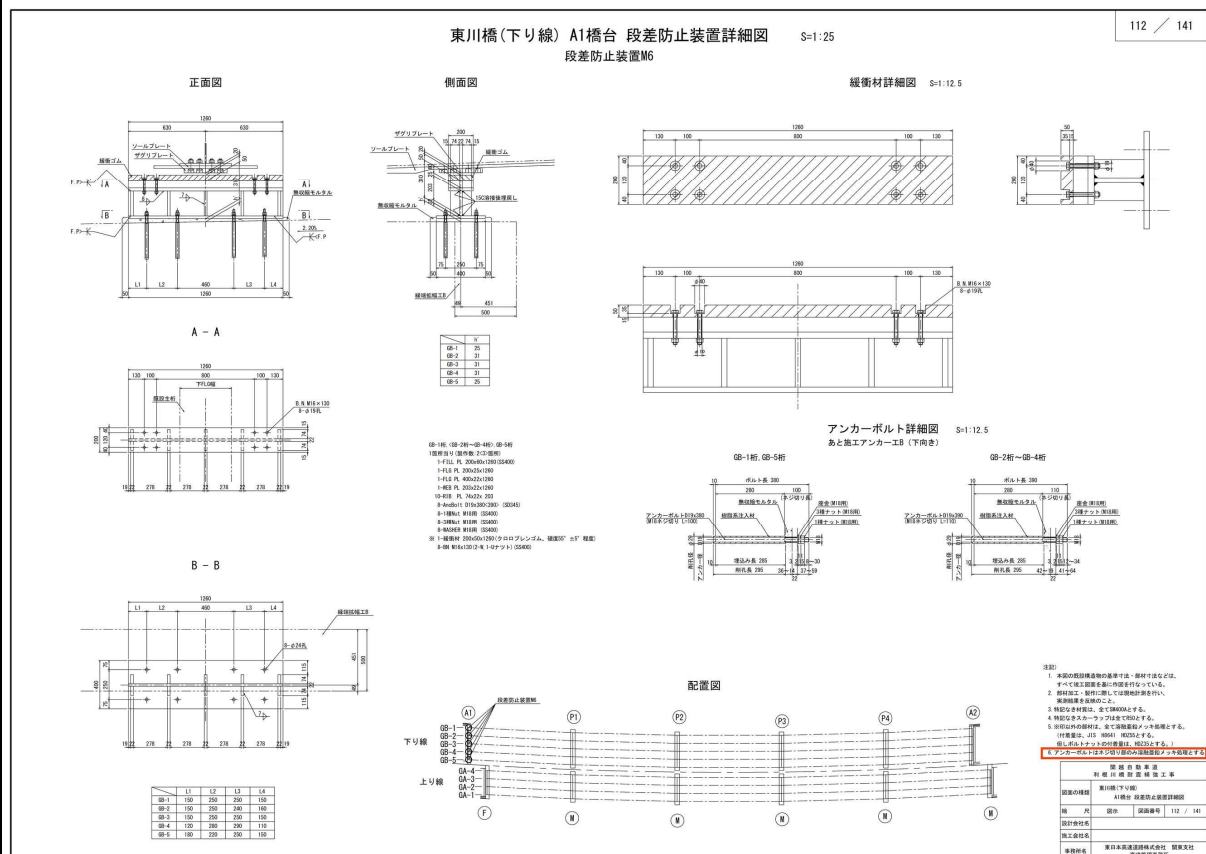
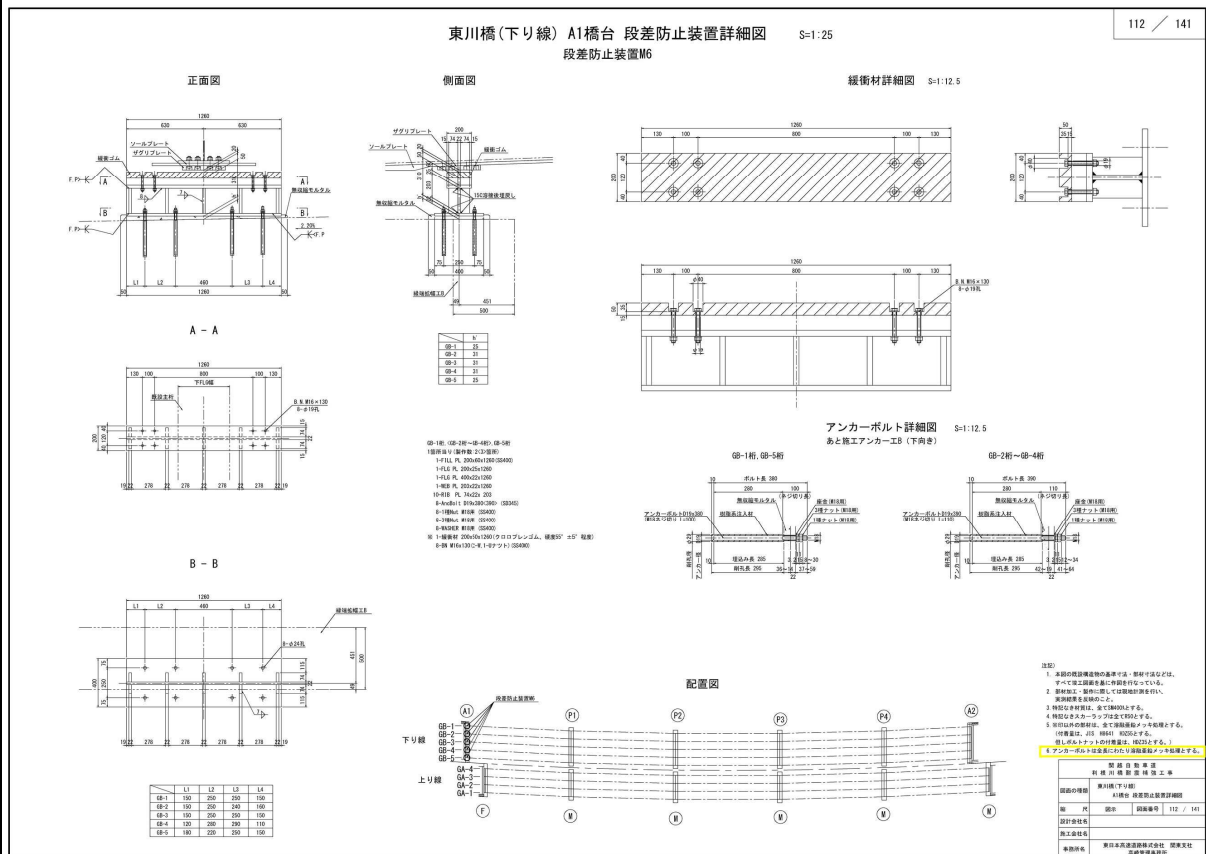
1. 鋼製プレート (500mm厚)
2. 鋼製プレート (500mm厚)
3. 鋼製プレート (500mm厚)
4. 鋼製プレート (500mm厚)
5. 鋼製プレート (500mm厚)
6. 鋼製プレート (500mm厚)
7. 鋼製プレート (500mm厚)
8. 鋼製プレート (500mm厚)
9. 鋼製プレート (500mm厚)
10. 鋼製プレート (500mm厚)

図面	図面番号	図面名
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)
104	141	東川橋(下り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4)

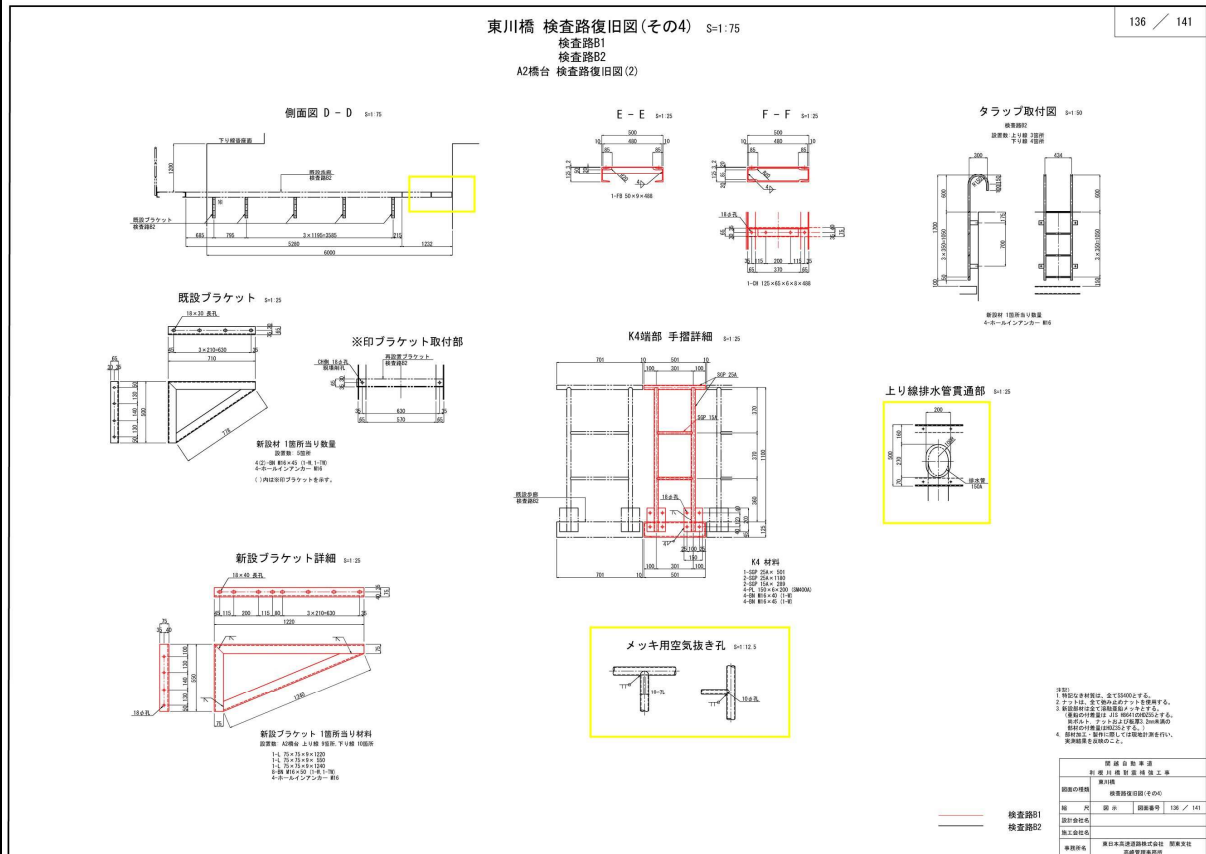
備考

注記の訂正

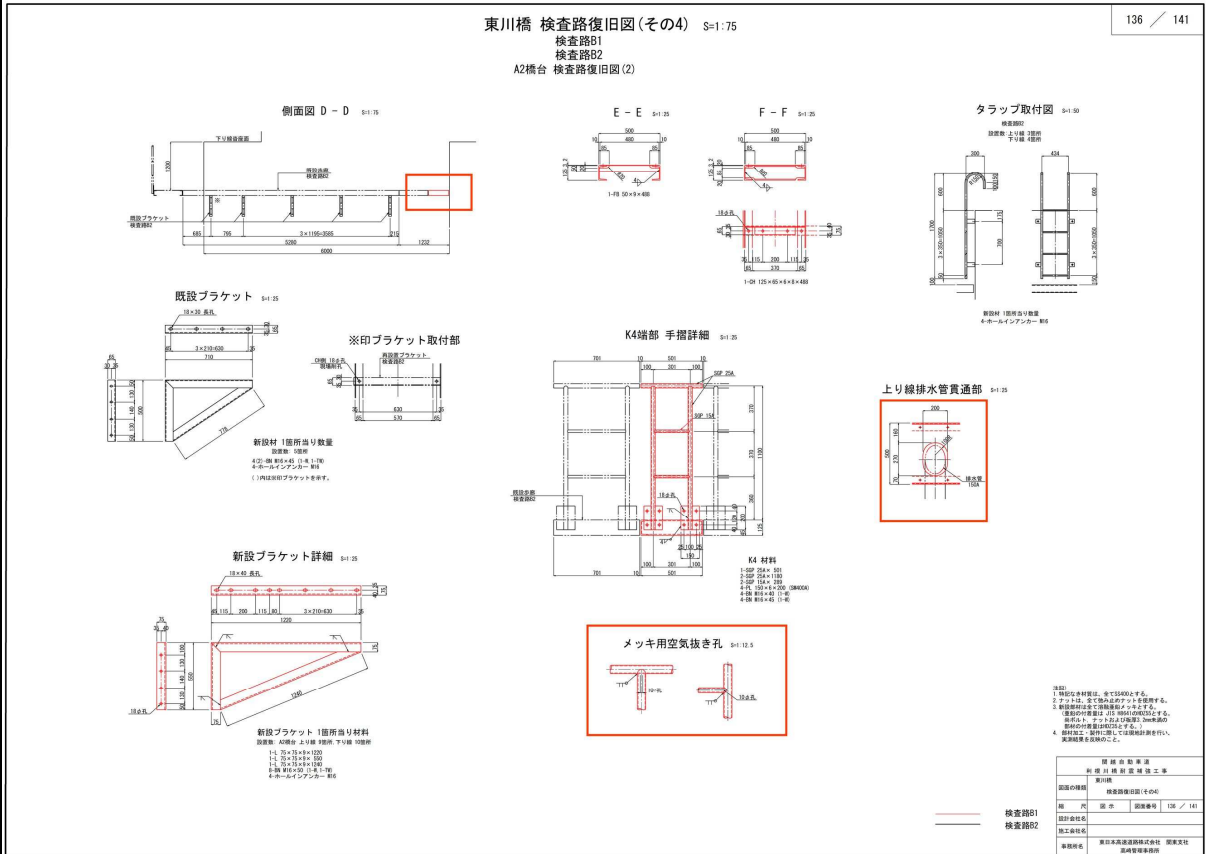
<div>対象</div> <div>誤</div>	<div>設計図面 東川橋（上り線）A1橋台 段差防止装置詳細図（108/141）</div> <div> <div>東川橋（上り線）A1橋台 段差防止装置詳細図 S=1:25</div> <div>段差防止装置M6</div> <div> <div>正面図</div> <div>側面図</div> <div>縦断材詳細図 S=1:12.5</div> <div>配置図</div> <div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div> <div>あて施工アンカー工事（下向き）</div> <div>GA-1桁、GA-4桁</div> <div>GA-2桁、GA-3桁</div> </div> </div> <div> <div>108 / 141</div> </div>
<div>正</div>	<div>東川橋（上り線）A1橋台 段差防止装置詳細図 S=1:25</div> <div>段差防止装置M6</div> <div> <div>正面図</div> <div>側面図</div> <div>縦断材詳細図 S=1:12.5</div> <div>配置図</div> <div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div> <div>あて施工アンカー工事（下向き）</div> <div>GA-1桁、GA-4桁</div> <div>GA-2桁、GA-3桁</div> </div> <div> <div>108 / 141</div> </div>
<div>備考</div>	<div>注記の訂正</div>



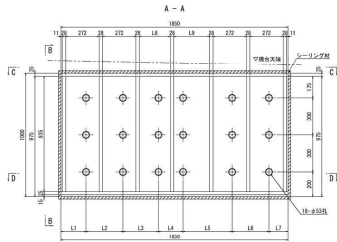
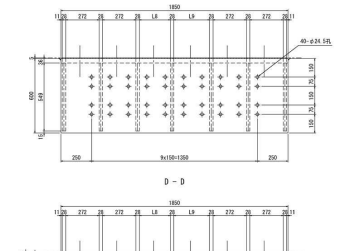
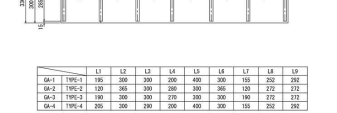
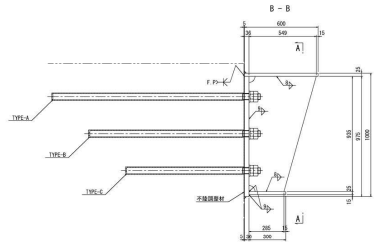

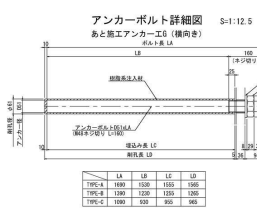
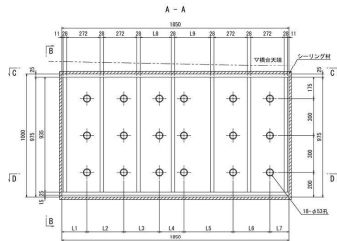
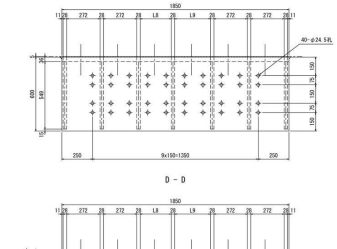
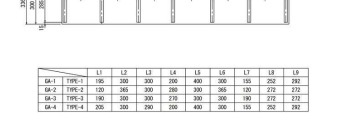
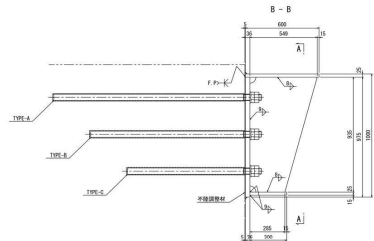
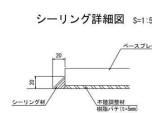
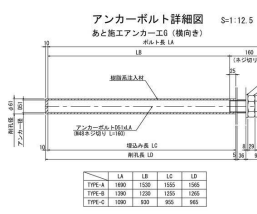
誤



正



<div>対象</div> <div>誤</div>	<div>設計図面 黒沢橋（上り線）A1橋台 支承取替工 詳細図(その4) (12/54)</div> <div> <div> <div>黒沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25</div> <div>段差防止装置M8</div> <div>鋼製プレート</div> </div> <div> <div> <div>A-A</div> </div> <div> <div>B-B</div> </div> <div> <div>C-C</div> </div> <div> <div>D-D</div> </div> <div> <div>シーリング詳細図 S=1:5</div> </div> <div> <div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div> <div>あと施工アンカー工 (横向き)</div> </div> <div> <div> <div>12 / 54</div> </div> </div> </div> </div>
<div>正</div>	<div> <div> <div>黒沢橋(上り線) A1橋台 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25</div> <div>段差防止装置M8</div> <div>鋼製プレート</div> </div> <div> <div> <div>A-A</div> </div> <div> <div>B-B</div> </div> <div> <div>C-C</div> </div> <div> <div>D-D</div> </div> <div> <div>シーリング詳細図 S=1:5</div> </div> <div> <div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div> <div>あと施工アンカー工 (横向き)</div> </div> <div> <div> <div>12 / 54</div> </div> </div> </div> </div>
<div>備考</div>	<div>注記の訂正</div>

対象	設計図面 黒沢橋（上り線）A2橋台 支承取替工 詳細図(その4) (19/54)																																																		
誤	<div><div>黒沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25</div><div>段差防止装置M9</div><div>鋼製プレート</div><div><div><div>A-A</div><div></div><div><div>C-C</div><div></div><div><div>D-D</div><div></div><table><tr><th></th><th>L1</th><th>L2</th><th>L3</th><th>L4</th><th>L5</th><th>L6</th><th>L7</th><th>L8</th><th>L9</th></tr><tr><td>GA-1 TYPE-1</td><td>180</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>400</td><td>200</td><td>150</td><td>250</td><td>200</td></tr><tr><td>GA-2 TYPE-2</td><td>120</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>150</td><td>270</td><td>270</td></tr><tr><td>GA-3 TYPE-3</td><td>180</td><td>200</td><td>200</td><td>270</td><td>200</td><td>200</td><td>180</td><td>270</td><td>270</td></tr><tr><td>GA-4 TYPE-4</td><td>250</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>400</td><td>200</td><td>150</td><td>250</td><td>200</td></tr></table></div><div><div>B-B</div><div></div></div><div><div>シーリング詳細図 S=1:5</div><div></div></div><div><div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div><div><div>あと施工アンカー工E (横向き)</div><div></div></div></div><div><div>注記</div><div>1) 特記なき材質は、全て鋼材とする。</div><div>2) 特記なきスカラーリングは、JIS B5041 鋼材とする。</div><div>3) 鋼材は、全て熱処理鋼材メットとする。</div><div>4) 鋼材の寸法は、JIS B5041 鋼材とする。</div><div>5) 鋼材の寸法は、JIS B5041 鋼材とする。</div><div>6) アンカーボルトは、全長に亘り、鋼材の寸法に準拠する。</div><div>7) 鋼材の寸法は、JIS B5041 鋼材とする。</div></div><div><div>図面番号</div><div>19 / 54</div></div></div></div></div></div>		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	GA-1 TYPE-1	180	200	200	200	400	200	150	250	200	GA-2 TYPE-2	120	200	200	200	200	200	150	270	270	GA-3 TYPE-3	180	200	200	270	200	200	180	270	270	GA-4 TYPE-4	250	200	200	200	400	200	150	250	200
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9																																										
GA-1 TYPE-1	180	200	200	200	400	200	150	250	200																																										
GA-2 TYPE-2	120	200	200	200	200	200	150	270	270																																										
GA-3 TYPE-3	180	200	200	270	200	200	180	270	270																																										
GA-4 TYPE-4	250	200	200	200	400	200	150	250	200																																										
正	<div><div>黒沢橋(上り線) A2橋台 支承取替工 詳細図(その4) S=1:25</div><div>段差防止装置M9</div><div>鋼製プレート</div><div><div><div>A-A</div><div></div><div><div>C-C</div><div></div><div><div>D-D</div><div></div><table><tr><th></th><th>L1</th><th>L2</th><th>L3</th><th>L4</th><th>L5</th><th>L6</th><th>L7</th><th>L8</th><th>L9</th></tr><tr><td>GA-1 TYPE-1</td><td>180</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>400</td><td>200</td><td>150</td><td>250</td><td>200</td></tr><tr><td>GA-2 TYPE-2</td><td>120</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>150</td><td>270</td><td>270</td></tr><tr><td>GA-3 TYPE-3</td><td>180</td><td>200</td><td>200</td><td>270</td><td>200</td><td>200</td><td>180</td><td>270</td><td>270</td></tr><tr><td>GA-4 TYPE-4</td><td>250</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>400</td><td>200</td><td>150</td><td>250</td><td>200</td></tr></table></div><div><div>B-B</div><div></div></div><div><div>シーリング詳細図 S=1:5</div><div></div></div><div><div>アンカーボルト詳細図 S=1:12.5</div><div><div>あと施工アンカー工E (横向き)</div><div></div></div></div><div><div>注記</div><div>1) 特記なき材質は、全て鋼材とする。</div><div>2) 特記なきスカラーリングは、JIS B5041 鋼材とする。</div><div>3) 鋼材は、全て熱処理鋼材メットとする。</div><div>4) 鋼材の寸法は、JIS B5041 鋼材とする。</div><div>5) 鋼材の寸法は、JIS B5041 鋼材とする。</div><div>6) アンカーボルトは、全長に亘り、鋼材の寸法に準拠する。</div><div>7) 鋼材の寸法は、JIS B5041 鋼材とする。</div></div><div><div>図面番号</div><div>19 / 54</div></div></div></div></div></div>		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	GA-1 TYPE-1	180	200	200	200	400	200	150	250	200	GA-2 TYPE-2	120	200	200	200	200	200	150	270	270	GA-3 TYPE-3	180	200	200	270	200	200	180	270	270	GA-4 TYPE-4	250	200	200	200	400	200	150	250	200
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9																																										
GA-1 TYPE-1	180	200	200	200	400	200	150	250	200																																										
GA-2 TYPE-2	120	200	200	200	200	200	150	270	270																																										
GA-3 TYPE-3	180	200	200	270	200	200	180	270	270																																										
GA-4 TYPE-4	250	200	200	200	400	200	150	250	200																																										
備考	注記の訂正																																																		

